令和5年度事業報告書

社会福祉法人高石市社会福祉協議会

令和5年度事業報告

法人運営・総務関係

1. 理事会・運営調整委員会等の開催

開催日	内容	出席者
正副会長会 5.6.1 (第1回)	案 件 第1号人事・総務関係について 第2号役員改選について 第3号 賛助会員・特別賛助会員の加入促進について 第4号 補正予算について 第5号 令和4年度事業報告・決算について 第6号 各種事業の進捗状況について	正副会長 3名
理事会 5.6.13 (第1回)	案 件 第1号 令和4年度事業報告について 第2号 令和4年度決算報告について 第3号 専決処分の報告(第1回・第2回)について 第4号 理事・監事候補者の推薦について 第5号 評議員候補者の推薦について 第6号 令和5年度第1回評議員会の招集事項について 報 告 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 賛助会員加入の募集について 第3号 本会『LINE公式アカウント』の運用について その他	理事 11名 監事 1名
理事会 5.6.29 (第2回)	案 件 第1号 会長、副会長及び業務執行理事の選任について 報 告 第1号 本会の運営状況について	理事 13名 監事 2名
正副会長会 5.12.25 (第2回)	案 件 第1号 人事・総務関係について 第2号 評議員の選任(退任)について 第3号 補正予算(専決処分)について 第4号 第2回理事会の議題等について 第5号 令和6年度新規事業(案)について 第6号 社協事業の日程について	正副会長 4名

開催日	内容	出席者
理事会 6.1.25 (第3回)	案 件 第1号 専決処分の報告(第3回)について 第2号 補正予算(第4回)について 第3号 評議員候補者の推薦について 報 告 第1号 職務執行状況の報告について 第2号 人事・労務関係について 第3号 令和6年能登半島地震被災地支援について 第4号 買い物支援(移動販売車)事業について その他	理事 15名 監事 2名
正副会長会 6.2.26 (第3回)	案 件 第1号 理事の選任(退任)について 第2号 人事・総務関係について 第3号 補正予算(専決処分)について 第4号 令和6年度事業計画・予算について 第5号 令和6年3月度理事会・評議員会の案件について	正副会長 4名
理事会 6.3.11 (第4回)	案 件 第1号 理事の解任及び選任について 第2号 事務局長の辞任の許可について 第3号 事務局長の選任について 第4号 定款の一部改正について 第5号 経理規程の一部改正について 第6号 事務局に関する規程の一部改正について 第7号 専決処分の報告(第5回)について 第8号 補正予算(第6回)について 第9号 役員等賠償責任保険の加入について 第10号令和6年度事業計画(案)について 第11号令和6年度予算(案)について 第12号令和5年度第2回評議員会の招集事項について 報告 第1号令和6年能登半島地震被災地支援について 報告 第1号令和6年能登半島地震被災地支援について 第3号 第17回たかいしボランティア・市民活動フェス ティバルの報告について 第4号 高石市介護支援ボランティア活動事業について 第5号 高石市の護支援ボランティア活動事業について 第6号 高石市介護サービス相談員派遣事業について 第6号 高石市の護サービス相談員派遣事業について 第6号 高石市地域福祉計画・第5次高石市地域福祉活動計画の策定について その他	理事 1 4名 監事 2 名

2. 評議員会の開催

開催日	内容	出席者
評議員会 5. 6. 29 (第1回)	議 案 第1号令和4年度事業報告について 第2号令和4年度決算報告について 第3号専決処分の報告(第1回・第2回)について 第4号理事・監事の選任について 報 告 第1号本会『LINE公式アカウント』の運用について その他	評議員 33名 理事 2名
評議員会 6.3.27 (第2回)	議 案 第1号 理事の解任及び選任について 第2号 定款の一部改正について 第3号 専決処分の報告(第3回、第4回、第5回補正予 算)について 第4号 補正予算(第6回)について 第5号 令和6年度事業計画(案)について 第6号 令和6年度予算(案)について 報 告 第1号 事務局長の任免について 第2号 令和6年能登半島地震被災地支援について 第3号 第2回ひきこもりに関する講演会の報告について 第4号 第17回たかいしボランティア・市民活動フェス ティバルの報告について 第5号 買い物支援(移動販売車)事業について 第6号 高石市介護支援ボランティア活動事業について 第7号 高石市個別避難計画作成事業について 第8号 高石市介護サービス相談員派遣事業について 第9号 第6次高石市地域福祉計画・第5次高石市地域福祉活動計画の策定について その他	評議員 30名 理事 4名

3. 法人監査の実施

実 施 日	内容	監査実施者
5. 5. 30	令和4年度計算関係書類・財産目録並びに事業報告等及 び社会福祉充実残額の算定についての監査	監事 大西正容

4. 財務会計・組織運営巡回監査の実施

実 施 日	内容	内部統制 支援実施者
5. 5. 23	令和4年12月から令和5年3月の間における会長及び 業務執行理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況、令 和4年度計算関係書類・財産目録並びに事業報告等及び 社会福祉充実残額の算定についての監査	栗谷会計事務所 税理士 栗谷和昭
5. 9. 21	令和5年4月から7月の間における会長及び業務執行理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況について、巡回監査業務委託先「栗谷会計事務所」による調査・報告	栗谷会計事務所 税理士 栗谷和昭
5. 12. 26	令和5年8月から11月の間における会長及び業務執行 理事の職務(法人運営・会計管理)執行状況について、巡 回監査業務委託先「栗谷会計事務所」による調査・報告	栗谷会計事務所 税理士 栗谷和昭

5. 職務執行状況の報告

報告日	内容	報告者
5. 6. 13 理事会	第1回理事会において、職務執行状況の報告 i.事業報告(令和4年12月から令和5年3月まで) ii.収支報告(令和4年4月から令和5年3月まで) iii.法人監事監査 iv. 寄附預託・払出し報告	会長 山崎雅雄 業務執行理事 辻田智
6. 1. 25 理事会	第2回理事会において、職務執行状況の報告 i. 事業報告(令和5年4月から11月まで) ii. 会長専決事項 iii. 法人監事監査 iv. 収支報告(令和5年4月から11月まで) v. 寄附預託・払出し報告	会長 山崎雅雄 業務執行理事 辻田智

6. 評議員選任・解任委員会等の開催

実 施 日	内容	出席者
5. 6. 13 (第 1 回)	案 件 第1号 評議員の選任について ① 退任者5名 阪口茂、立石昭次、長岡貞男、岩橋哲也、室井宏文 ② 選任者5名 松田亜季、山口忠義、中野達郎、山中敦夫、野﨑英俊	委員 3名

実 施 日	内容	出席者
6. 1. 29 (第 2 回)	案 件 第1号 評議員の選任について ① 退任者 1名 森博英 ② 選任者 1名 船留眞一	委員 2名

7. 組織構成会員加入の促進

各種団体、福祉施設及び関係機関に幅広く加入して頂き、また本会評議員の選出母体など、社協の運営に参画して頂いた。 組織構成会員数 53団体

令和5年度 組織構成会員 一覧 (順不同)				
高石市	高石市議会	高石市連合自治会		
高石市婦人団体協議会	高石商工会議所	高石ロータリークラブ		
高石市民生委員児童委員協議会	高石市保護司会	高石市更生保護女性会		
(社福)遺徳会	(社福)福昭会	(社福)亨文会		
(一財)高石市保健医療センター	(社福)徳友会	(社福)南海福祉事業会		
(社福)浜寺会	(社福)温友会	(社福)いずみ野福祉会		
(社福)和泉乳児院	(社福)不易創造館	高石市ボランティア連絡会		
NPO 法人きずな	NPO 法人やまびこ	NPO 法人せかんど		
NPO 法人泉ひまわりの会	NPO 法人せらび	NPO 法人明日架		
(医)医進会 高石加茂病院	(医)良秀会 高石藤井病院	(医)博我会 高石病院		
(医)微風会 浜寺病院	(公社)高石市シルバー人材センター	高陽校区福祉委員会		
高石校区福祉委員会	羽衣校区福祉委員会	東羽衣校区福祉委員会		
加茂校区福祉委員会	清高校区福祉委員会	取石校区福祉委員会		
高石市シニアクラブ連合会	高石手をつなぐ親の会	高石市視覚障害者福祉会		
高石市教育委員会	高石小中学校長会	高石市医師会		
高石市歯科医師会	高石薬剤師会	高石防災協会		
高石交通安全協会	高石市人権協会	高石市事業所人権教育推進 連絡協議会		
渋谷光美(羽衣国際大学)	村上洋次(南海福祉看護専門学校)			

8. 賛助会員・特別賛助会員加入の促進

各校区福祉委員会をはじめ自治会等各種関係団体、地域住民の方々のご協力により、 地域での福祉活動推進のための安定した財政基盤づくり及び本会事業の啓発宣伝を目 的として、賛助会員並びに特別賛助会員への加入促進に努めた。

総計表

区分	件	数	金	額
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
賛助会員	7, 442	7, 130	9, 365, 500 円	9,043,500 円
特別賛助会員	115	116	1, 170, 000 円	1, 180, 000 円
総計	7, 557	7, 246	10,535,500円	10, 223, 500 円

各校区福祉委員会別実績表

校区名	件数	特別賛助会員	件数	賛助会員	件 数	校 区 計
高 陽	15	150,000 円	1, 456	1,907,000 円	1, 471	2,057,000 円
高 石	22	220,000円	1,504	1,966,000 円	1, 526	2, 186, 000 円
羽衣	11	130,000 円	1, 106	1, 296, 500 円	1, 117	1,426,500円
東羽衣	4	40,000 円	1, 217	1,356,000円	1, 221	1, 396, 000 円
加茂	14	140,000 円	464	641,000 円	478	781,000円
清高	12	120,000円	663	827,000 円	675	947,000 円
取 石	19	190,000円	720	1,050,000円	739	1,240,000円
校区外	19	190,000 円	0	0 円	19	190,000円
総計	116	1, 180, 000 円	7, 130	9,043,500 円	7, 246	10, 223, 500 円

9. 善意銀行預託金等運営

市民からの善意のご厚志を賜り、地域福祉の向上のための資材や障がい福祉の推進、災害支援活動のために払出しを行った。

【預 託】

内 訳	件数	金 額(円)
地域福祉基金	103	2, 296, 114
内軽トラック購入	101	1, 986, 114
高齢障がい福祉(おもいやり)基金	1	100,000
善意銀行	4	686, 545
物品(食品)	1 9	-
合 計	1 2 7	3, 082, 659

【払 出】

・子ども食堂活動推進助成

8件

・障がい福祉活動推進助成

4件

• 災害見舞金

1件

10. 人材定着・確保への取り組み

(1) 役職員研修活動

社協事業の活性化や職員のスキル向上を図るため、下記のとおり役職員が研修会に 参加した。

年月日	研修内容
5. 5. 25	学卒求人説明会兼公正採用選考人権啓発推進員研修会
5. 5. 26	障がいのある子の保護者のためのセミナー
5. 5. 29	高齢者虐待対応研修
5. 6. 13	高次脳機能障がい地域支援者養成研修
5. 6. 22	令和5年度第1回泉州がん診療連携協議会
	緩和ケア部会(緩和ケアの充実に向けた泉州地域連携検討会)
5. 6. 22	大阪府任意後見制度に係る研修会
5. 7. 26	市町村ヤングケアラー支援担当職員向け研修
5. 7. 31	依存症支援関係者地域交流会
5. 8. 1~31	労働セミナー(2023 年度労務管理の対応とポイント)
5. 8. 16	養護者による高齢者虐待対応現任者研修
5. 8. 30	包括的支援体制構築推進事業第1回全体研修会
5. 9. 1~2	いきがい・助け合いオンラインフェスタ 2023
5. 9. 20	大阪府ひきこもり支援に携わる人材の養成研修
11.16	ス版/所 U C C U / 人版(C D g n / S) C p l v 展 p x m l p
5. 9. 25	強度行動障がい支援者養成研修
~10. 11 5. 9. 28	上に広地方委員会では、1、1、2、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、
5. 10. 19	大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー連絡会
5. 10. 19 ~11. 17	成人移行支援の学習会
5. 10. 27	障害者雇用促進セミナー
5. 11. 6	相続財産清算人・不在者財産管理人制度に関するセミナー
5. 11. 6	悪徳商法に関する見守り者向け研修
5. 11. 14	虐待防止研修
5. 11. 14	泉州圏域高次機能障害支援ネットワーク研修会
5. 11. 17	成年後見制度利用促進セミナー
5. 11. 28	家事関係機関と大阪家庭裁判所との連絡協議会
5. 12. 18	BCP 策定セミナー
6. 1. 17	医療的ケア児等支援者養成研修
6. 1. 29	企業トップクラス研修会『ビジネスと人権、職業安定法の改正について』

年月日	研 修 内 容
6. 1. 30	令和5年度市町村社協連合会泉州ブロック研修会
6. 1. 31	国立障害者リハビリテーションセンター (支援者向けセミナー)
6. 2. 5	泉州地区生活困窮者自立支援制度研修会
6. 2. 28	権利擁護に係る意思決定支援研修会
6. 3. 8	権利擁護支援シンポジウム

(2) 事務局職員資格取得状況(合計実人数67名)

令和6年3月末現在

社会福祉士	精神保健福祉士	介護支援専門員	看護師等
1 7	3	2 7	1 1

(重複所持計上有)

(3) 社会福祉士、看護師等の実習生受入

将来の福祉人材の確保・育成の一環として、社会福祉士および看護師課程の実習生を 受け入れた。

また、地域福祉活動に対する理解を深めてもらうために、学生を対象に講義を行った。

○実習生受入

実習課程	受入人数
社会福祉士	7名(60時間実習:3名、180時間実習:4名)
看護師	3 5 名
その他	21名(うち2名教員)
合計	6 3 名

※受入大学:南海福祉看護専門学校、桃山学院大学、大阪大谷大学

○講義(学生向け)

- ・南海福祉看護専門学校(9月11日) 『社協について』『認知症サポーター養成講座』
- ・羽衣国際大学(12月4日)『ボランティアについて』

11. 啓発・宣伝活動

- (1) 社協機関紙「たかいし福祉」の発行〔6、7、9、11、2月の年5回〕 『245号~249号』を各24,400部作成し、市広報紙に折込んで配布した。 ※各号発行にあたり、発行の前月に各1回編集委員会を開催した。
- (2) 社協ホームページ・LINE 等の活用

『イベントブログ』『職員ブログ』『LINE』等を活用し、情報をいち早く伝えるとともに、地域福祉情報をわかりやすく発信を行った。

赤い羽根共同募金運動

1. 実施内容

(1) 実施期間

赤い羽根募金・・・・10月1日から12月31日まで 歳末たすけあい募金・・12月1日から12月31日まで

- (2) 実施主体 大阪府共同募金会、高石地区募金会
- (3) 依 頼 先 市内各自治会・事業所・保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小学校・ 中学校・専門学校・高校・各種団体・公民館等各施設・介護保険施設・ 障がい者作業所・市内の駅・企業・個人
- (4) 理事会の開催

日時:8月29日(火) 15時~16時

場所:高石市コミュニティセンター 2階会議室

議案:①令和4年度事業報告・決算 ②令和5年度事業計画・予算

出席者:8名(監事2名含む)

2. 共同募金運動各実績

(1) 赤い羽根共同募金

総 額 2,282,751円

内 訳



単位:円

年 度	戸別募金 (自治会含む)	学校募金	街頭募金	職域募金	その他	バッジ	合 計
5	1, 348, 699	181, 859	414, 142	14, 664	87, 887	235, 500	2, 282, 751
4	1, 396, 762	214, 559	340, 459	13, 825	700	229, 000	2, 195, 305

- ① 街頭募金協力者: 232名(10月1日·2日·3日)
- ② 街頭募金実施場所:12か所(駅・スーパー等)
- ③ 募金箱設置協力店:69か所(企業・福祉施設・公共施設等)
- (2) 歳末たすけあい募金

総 額 1,096,800円

内 訳

単位:円

年 度	戸別募金 (自治会含む)	街頭募金	その他	合計
5	813, 117	79, 087	204, 596	1, 096, 800
4	866, 237	112, 548	170, 000	1, 148, 785

(3) 義援金

• 能登地方地震

4 件

9,303円

· 令和 6 年能登半島地震

27件 617, 193円

(4) その他 (街頭募金)

単位:円

実施日	行 事 名	募金額
5. 6. 18	シーサイドフェスティバル	31, 339
5. 10. 15	高石商工フェスティバル	28, 755
5. 10. 22	市民体育大会	35, 699
5. 11. 1	高石市総合避難訓練	3, 145
6. 3. 2	第 17 回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル	47, 930

3. 各種保健福祉関係事業の開催 [共同募金配分金事業]

(1) 老人福祉関係事業

◇シニアクラブ連合会助成金の交付 連合会に対し、活動費として、50,000円の助成金を交付した。

(2) 障がい児・者福祉事業

◇障がい者団体助成金の交付

障がい者団体に対し、活動費として、各団体 30,000 円の助成金を交付した。 @30,000 円×2団体

(3) 母子・父子福祉事業

◇母子寡婦福祉会助成金の交付

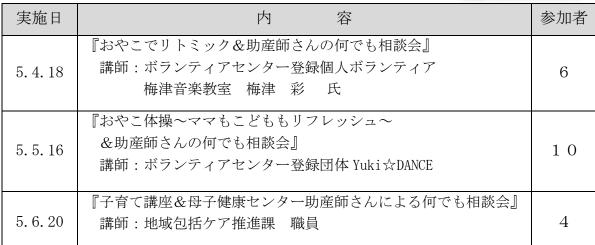
団体に対し、活動費として、30,000円の助成金を交付した。

(4) 児童・青少年福祉事業

◇子育てサロン

場所:高石市母子健康センター

日時:毎月第3火曜日 午前10時から午前11時30分





実施日	内容	参加者
5. 7. 18	『おやこ体操〜ママもこどももリフレッシュ〜工作もあるよ♪ &助産師さんの何でも相談会』 講師:ボランティアセンター登録団体 Yuki☆DANCE	8
5. 8. 15	『本えらび・おはなしかい&助産師さんの何でも相談会』 講師:高石市立図書館 職員	台風のた め中止
5. 9. 19	『なかよしこよし&助産師さんの何でも相談会』 講師:南海愛児園子育て支援センター 職員	4
5. 10. 17	『みんなで ALOHA! ~気分は HAWAII の~んびりリフレッシュ~&助産師さんの何でも相談会』講師:ボランティアセンター登録個人ボランティア木村 美由紀 氏(フラダンス講師)	5
5. 11. 21	『おやこでリトミック&助産師さんの何でも相談会』 講師:ボランティアセンター登録個人ボランティア 梅津音楽教室 梅津 彩 氏	9
5. 12. 19	『おやこでクリスマスダンスをしよう &助産師さんの何でも相談会』 講師:ボランティアセンター登録団体 Yuki☆DANCE	8
6. 1. 16	『みんなで ALOHA! ~気分は HAWAII のんびりリフレッシュ~& 助産師さんの何でも相談会』講師:ボランティアセンター登録個人ボランティア 木村 美由紀 氏(フラダンス講師)	9
6. 2. 20	『おやこ体操〜ママもこどももリフレッシュ &助産師さんの何でも相談会』 講師:ボランティアセンター登録団体 Yuki☆DANCE	5
6. 3. 19	『おやこ体操〜ママもこどももリフレッシュ &助産師さんの何でも相談会』 講師:ボランティアセンター登録団体 Yuki☆DANCE	4

(5) 福祉教育の実施

市内の小学校・中学校との連携を基盤として、介護事業所・ボランティアグループとの協働による点字講座や車いすを使用した体験型の福祉教育等を通して、お互いの助け合いの大切さ(こころのバリアフリー)を体得するとともに、ボランティア活動に取り組むきっかけづくりの出前講座を行った。

※詳細は、49ページに記載しております。

たかいしファミリー・サポート・センター事業

子育ての援助を必要とする方(依頼会員)と子育ての援助ができる方(提供会員)、両方を兼ねる方(両方会員)からなる地域での子育てを相互援助する会員組織で、高石市から委託を受けて運営を行った。依頼会員の登録は、随時募集(月~金)、提供・両方会員の登録は、センターが開催する講習会を受講後、登録を行った。

(1) 会員数

- / / - / ///	
依頼会員	3 2 2 名
提供会員	9 2 名
両方会員	51名
合計	465名





(2)活動回数内容

保育施設への送迎	保育施設への送迎 及び一時預かり	学童保育後の 一時預かり	学童保育後の 送迎及び一時 預かり	学童保育帰宅後 の送迎及び一時 預かり
4 1	9	5	4	2
こどもの習いごと の場合の送迎	保護者の短時間・ 臨時的就労の際の 一時預かり	保護者の求職活 動中の一時 預かり	こどもの行事 の場合等の一 時預かり	保護者の病気・ 急用の際の送迎 及び一時預かり
1 9 2	1 6	2	7	1
保護者の健診・受 診による場合の一 時預かり	保護者の産前産後 の場合のこどもの 送迎	保護者のリフレ ッシュの際の一 時預かり	合計	
8	4	1 0	3 0	1回

(3) 相談・打ち合わせ件数

	新規・活動内容等についての相談 (来所・電話等含む)	事前打ち合わせ	訪問入会説明
件数	3 3 2	3 6	7

(4) 提供会員養成講習会

①前期ファミリーサポート講習会

開催日	内容	受講者
5. 7. 5	『ファミリー・サポートのしくみ』 講師:ファミサポアドバイザー	
	『こどもの栄養と食生活』	
	講師:高石市地域包括ケア推進課 管理栄養士	
5. 7. 6	『保育のありかたと遊び方』 講師: 高石市子育て支援課 保育士	
	『市の子育て支援と事故予防』	
	講師:高石市地域包括ケア推進課 保健師	
5. 7. 19	『乳幼児の一時救命処置』 講師:日本赤十字社大阪府支部	9
	『ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について』	
	講師:高石市こども家庭課 家庭児童相談員	1
	『病気について・健康管理』	
	講師:高石市医師会 医師	
5 5 0 i		
5. 7. 21	『感じてもらう子どもの気持ち!子育てワンポイントアドバイス』	
	講師:南海福祉看護専門学校 こども未来学科 講師	

②後期ファミリーサポート講習会

開催日	内容	受講者
5. 11. 7	『ファミリー・サポートのしくみ』 講師:ファミサポアドバイザー 『ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について』 講師:高石市こども家庭課 家庭児童相談員 『普通救命講習3~講座・AED講習・実技など』	
5. 11. 15	講師: 堺市消防局救急課 応急手当指導員 『こどもの栄養と食生活』 講師: 社会福祉法人不易創造館 加茂保育園 栄養士 『病気について・健康管理』 講師: 高石市医師会 医師	5
5. 11. 30	『保育のありかたと遊び方』講師:高石市子育て支援課 保育士 『こどもの発達について』 講師:高石市子育て支援課 発達相談員 『こどもの事故予防』 講師:高石市地域包括ケア推進課 保健師	

(5) フォローアップ講座

◇7月4日 (火)

『子育て支援の経緯と傾聴の必要性』

講師:吹田傾聴「ほほえみ」 西岡 みさ子氏、瀬川 やよい氏

受講者:5名

(6) 会員交流会(提供・両方会員交流会)

①「ハロウィンごみひろいパレード&スカイランタン」

ファミサポ全会員対象で、高石市内で楽しみながらボランティアを体験していただくと共に、親子間で同じ体験をする事により、お互いの新たな発見や気づきを体験していただく。また、お楽しみとして、鴨公園でスカイランタンを飛ばし、夏の楽しい思い出の1つとしていただくことを目的として実施した。

開催日:10月29日(日)

場所:加茂・西取石・清高・東羽衣地区周辺、鴨公園

参加者:87名

②「ファミサポまつり~いっぱいわらって、いっぱい遊んで、いっぱい楽しもう~」ファミサポ全会員また、会員登録資格がある方を対象に、親子で楽しめるお菓子すくいなどを縁日形式で開催し、ファミサポ提供会員や社協登録ボランティアがお店屋さんになり、会員間の交流を深めていただき、春休みの楽しい思い出を作っていただく。また、依頼会員即日登録会も同時開催し、日頃お仕事等で登録が難しい方にご登録いただく機会を作ることを目的として実施した。

開催日: 3月23日(土) 10時~12時

場 所:高石市コミュニティセンター

参加者:72名

(7) 啓発活動

(1) 冶光伯男	
行 事 名	実 施 日
子育てサロン	4月18日、5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10月17日、
にこたん広場	11月21日、12月19日、1月16日、2月20日、3月19日
赤ちゃんとあそぼう	6月15日、6月22日、6月29日、10月12日、10月19日、10月26日
こども会カーニバル	4月29日
シーサイドフェスティバル	6月18日
すこやか見守りサポーター	7月4日
養成講座	
高石市商工フェスティバル	10月15日
高石市市民体育大会	10月22日
ハロウィンごみひろい	10月29日
パレード&スカイランタン	10 万 29 日
高石市総合避難訓練	11月1日
子育てトーククリスマス会	12月1日
傾聴ボランティア養成講座	12月12日
第17回たかいしボランティア・ 市民活活動フェスティバル	3月2日

(8) 社会参加支援活動

子育て中の方々の社会参加の一環として、派遣要請を受け、市主催等の講演会等に提供会員の派遣を行った。

派遣回数 7回(派遣延人数 18名)

高石市乳幼児すこやか見守り支援事業

生後5か月頃から1歳頃を迎えるまでの乳幼児世帯を対象に地域ボランティア「すこやか見守りサポーター」がご自宅へ訪問し、親子の心身の状況や養育環境等の把握を行うことにより、乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、もって乳幼児の健全な育成環境の確保を図ることを目的として実施した。

1. 登録人数

見守りサポーター	手作りサポーター	合計
6 4 名	20名	8 4 名



2. すこやか見守りサポーター部門

(1)活動実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
訪	5か月	29	32	26	35	27	32	38
問世帯	8か月	54	38	32	32	31	24	34
帯	12か月	29	27	35	32	52	36	30
狺	5動件数	156	142	140	150	133	159	155
気に	こなる世帯	22	12	12	11	11	9	11
		11月	12月	1月	2月	3月	合	計
訪	5か月	32	33	34	24	32	37	74
間世帯	8か月	27	31	36	31	32	40)2
帯	12か月	27	31	36	31	32	37	78
活動件数		130	146	130	133	138	1, 7	712
気になる世帯		8	6	7	13	11	13	33

(2) 子育て応援チケット協力店舗 (9店舗)

- ・スギ薬局(高石駅前店・取石店・ジャパン高石店)
- ・キリン堂高石加茂店
- ・ドラッグセイムス高石加茂店
- ・ウエルシア(高石高師浜店・高石東羽衣店)
- ・サンドラッグ(高石店・綾園店)

3. 子育て支援品 (スタイ) 製作部門 [共同募金配分金事業]

乳幼児世帯に対し、子育て支援品 (スタイ) を製作し、すこやか見守り訪問の際 にチケットと一緒にお渡した。

○活動実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
活動回数	2	2	1	2	_	_	2
人数	20	25	11	20		_	20
	11月	12月	1月	2月	3月	合	計
活動回数	2	2	_	2	2	19	
人数	18	20	_	22	22	178	

4. すこやか見守りサポーター養成講座

開催日	内容	参加者
	『導入研修』 講師:社会福祉協議会職員	
	『傾聴ボランティアとは』	
5. 7. 4	講師:吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏	
	『子育て支援の経緯と傾聴の必要性』	
	講師:吹田傾聴「ほほえみ」西岡みさ子氏、瀬川やよい氏	
	『保育のありかたと遊び方』	
	講師:高石市子育て支援課 保育士	
5. 7. 6	『市の子育て支援と事故予防』	
	講師:高石市地域包括ケア推進課 保健師	9
	『ほめて伸ばす子育てのコツ・虐待について』	
5. 7. 19	講師:高石市こども家庭課 家庭児童相談員	
5. 7. 19	『病気について・健康管理』	
	講師:高石市医師会 石田医院 石田雄三氏	
	『感じてもらう、子どもの気持ち!』	
5. 7. 21	講師:南海福祉看護専門学校 こども未来学科 北村 博文氏	
0.1.21	『離乳食について』	
	講師:泉大津・高石フリー活動栄養士会 米田 徳子氏	

5. フォローアップ研修

開催日	内容	参加者
6. 2. 16	『より良い子育て支援を行うために』 講師:南海福祉看護専門学校 こども未来学科 北村 博文氏	2 7

ボランティア・市民活動センター事業の推進

1. ボランティア・市民活動センターの運営

(1) ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

日時:6月28日(水)午後1時30分~ 場所:高石市役所別館3階 会議室311

案件:①令和4年度ボランティア・市民活動センター事業報告について

②令和5年度ボランティア・市民活動センター事業計画、今後の予定について

③第17回ボランティア・市民活動フェスティバル実行委員について

(2)ボランティア相談および情報発信

市民、事業所等からのボランティア相談・斡旋および各種情報の提供を行った。

- ・ボランティアの相談、斡旋等
- ・「ボランティアだより」の編集発行 社協機関紙「たかいし福祉」に掲載(年5回)
- ・センター事業PRポスター掲示、各市町村社協・団体等発行物の設置
- ・各種イベント等の情報提供

(3)ボランティア保険の受付

ボランティア活動に安心して取り組めるよう、ボランティア保険加入の促進を 図った。

加入者数

ボランティア活動保険	ボランティア市民活動行事保険	有償活動団体保険
1, 451	13,581	3 7

2. ボランティア登録

- (1) ボランティア登録
 - ◎個人ボランティア登録

87 人 (男性 30 人 女性 57 人)

- ◎ボランティアグループ団体登録52 グループ 1,068 人
- ◎NP0 法人登録

登録状況 6 グループ 228 人



◎登録ボランティアグループ

	グループ名	活動内容	会員数
1	すみれグループ	和泉幼児院の行事手伝い・読み聞かせ グループホームの訪問、地域での活動	20
2	手話サークル まつぼっくり	手話学習、聴言障がい者等との交流	19
3	音訳ボランティア ひさご会	定例会、声の便り発行、声の広報制作 依頼録音図書の制作、音訳勉強会	16

	グループ名	活動内容	会員数
4	こぶしの会	独居・高齢者宅家事手伝い、通院介助 肢体不自由児機能訓練補助	5
5	グループふれあい	障がい者作業所・老人福祉施設の手伝い	5
6	たんぽぽグループ	施設への雑巾寄贈、古切手・テレカの収集、 施設慰問、施設窓拭き	5
7	南海福祉看護専門 学校ボランティアグループ	ボランティア全般	288
8	タッチ・サン	手でさわる絵本づくり	5
9	まどか2	海外難民へ送る古着の分別作業リサイクル市	6
1 0	ボランティア東羽衣	手作り作品を持っての友愛訪問、お楽しみ会	11
1 1	ぐるうぷぼちぼち	ボランティア一般	7
1 2	点訳グループ	絵本の点訳、小学校総合学習の手伝い	8
1 3	宙の会	精神障がい者の地域での生活支援	6
1 5	泉大津・高石フリー 活動栄養士会	外食アドバイザー、栄養相談や食生活相談等、 勉強会	8
1 6	あんず	きゃらの郷での花壇の手入れ、お花見	18
1 7	紙工房あじさい	施設慰問 (ペーパークラフト)	11
1 8	凛	施設慰問 (新舞踊・日本舞踊)	9
1 9	つくし	老人施設でのボランティア活動	12
2 0	夢楽らいぶ一座	ギターの弾き語りショー	4
2 1	化粧クラブ	老人福祉施設でのメイク指導	6
2 2	とろし・お元気 クラブ	高齢者等の閉じこもり防止・機能回復のための 体操等手伝い(とろしプラザ)	9
2 3	楽笑笑福一座	施設慰問(皿回し・南京玉すだれ等の大道芸)	8
2 4	健 (すこやか)	太極拳を取り入れた健康体操	13
2 5	大正琴「歩み」	施設慰問(大正琴、尺八等の和楽器)	6
2 6	高石市バトントワリング スポーツ少年団	バトントワリングの演技発表	20
2 7	高石健康生活 ネットワーク	お茶・お花 児童作品展	8
2 8	リズム体操クラブ 「バチャーター」	演歌・歌謡曲のリズムに乗せて楽しく運動	19
2 9	ハンドメイドクラブ	バザー製品の製作やかわいい雑貨の手作り	6
3 0	高石市内史跡 ボランティアガイドクラブ	高石市内の史跡を市内の方に案内し、健康増進 に努める	8
3 1	ゆめ企画 "ラポール"	施設慰問(色紙や和紙を使った花やつり飾り)	7
3 2	「町の便利屋さん」	簡単な困りごとの有償支援	86

	グループ名	活動內容	会員数
3 3	パソコン広場	パソコンで Word, Excel, インターネットを理解 して活用できるように指導	58
3 4	高石土笛の会	各地区や障がい児施設でのオカリナ演奏	9
3 5	あやとり	家族の居場所づくり、音楽リトミック	14
3 6	BIG UP 大阪	災害支援	9
3 7	チームマリナフラ	フラダンスによる施設ボランティア活動	26
3 8	傾聴ボランティア グループえがお	福祉施設訪問による傾聴、電話による傾聴	46
3 9	アクティブエイジング	レクリエーションボディケア、ベビーケア、 ペットケア等の健康指導	5
4 0	Yuki☆DANCE	高石市内、難波で活動中のダンススクール	45
4 1	フラエクササイズ クラブ	施設ボランティア活動、公民館まつりへの参加	10
4 2	マルメロの会	日々の暮らしの中で生じる困りごとのお手伝い	3
4 3	すこやかグループ	生後5カ月から1歳を迎えるまでの乳児のいる 家庭への訪問等	84
4 4	高石市防災士の会	地域に密着した防災意識の啓発活動 等	5
4 5	パソコン塾	PC、スマホ、タブレットに関するアドバイス等	8
4 6	北高石健康クラブ	「動く・笑う・歌う・聴く・考える」の5本柱 を基に介護予防活動や認知症予防活動の活動等	43
4 7	スターマジック	マジックの出前出張 等	8
4 8	フレンズ	ハーモニカの出前演奏 等	5
4 9	高石健幸和太鼓の会	和太鼓演奏	16
5 0	(社)morimoto音楽堂	打楽器を使用した音楽レクリエーション	2
5 1	そらいろ	コミュニティセンターでのコミカフェの運営等	13

◎NPO法人登録グループ

	グループ名	活 動 内 容	会員数
1	NPO 法人 泉ひまわりの会	生活支援、オレンジカフェ、子ども食堂	21
2	NPO 法人きずな	元気な高齢者づくりを中心に子どもの健全育成 や、環境保全、地域への貢献など	90
3	NPO 法人子育て 支援グーチョキパー	社会教育の推進、まちづくりの推進、文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成	23
4	NPO 法人やまびこ	介護予防として歯科医による講義、歯磨き指導、「からだに優しい料理」としての料理教室、 手や頭の訓練に絵手紙教室等を実施	15
5	NPO 法人陽だまり	コミュニティカフェ・認知症カフェの運営	45
6	NPO 法人 ユニグラウンド	健康イベントの開催、NPO 連絡会の開催	34

3. ボランティア連絡会活動助成金の交付

ボランティア連絡会に対し、活動費として 75,000 円の助成金を交付した。

4. ボランティアグループ活動助成金

本会ボランティア・市民活動センター登録のボランティアグループに対して、次のとおり活動費、研修費として各グループ 10,000 円を上限とし、助成金の交付を行った。 @10,000 円×19 グループ、@3,010 円×1 グループ、@8,455 円×1 グループ、 @7,052 円×1 グループ

5. 各種講習会の開催

○ボランティアサロンの開催

ボランティアの方や市民を対象に、ボランティア同士の交流や情報交換、高齢者等の居場所づくりを目的として、高石市ボランティア連絡会との共催により開催した。

(1) おしゃべりカフェ

実施日	内 容	参加者
5. 4. 6	パソコン教室	13
5. 4. 13	着物リメイク	10
5. 4. 20	樹ウォッチング	12
5. 4. 27	健康体操	11
5. 5. 11	ホテルでランチ	27
5. 5. 18	山野草ウォッチング	14
5. 5. 25	食事の大切さ	15
5. 6. 1	パソコン教室	13
5. 6. 8	アームバンド	11
5. 6. 15	アロマのルームスプレー	12
5. 6. 29	こけ玉	14
5. 7. 6	パソコン教室	13
5. 7. 13	マジック	11
5. 7. 20	お薬手帳入れ	13
5. 7. 27	夏休みこどもカフェ 軍手に絵を書こう	4
5. 8. 3	パソコン教室	12
5. 8. 17	夏休みこどもカフェ びりびりぺたぺた新聞アート	11
5. 8. 24	夏休みこどもカフェ 夏休み防災工作	12
5. 8. 31	オカリナ演奏会	13
5. 9. 7	パソコン教室	12
5. 9. 21	五風荘ランチ	25
5. 9. 28	八房流玉すだれ	8

実施日	内 容	参加者
5. 10. 5	パソコン教室	12
5. 10. 12	フラダンス体験	9
5. 10. 19	史跡講座⑨	15
5. 10. 26	史跡めぐりツアー	14
5. 11. 2	パソコン教室	12
5. 11. 9	干支のブローチ	10
5. 11. 16	さるぼぼ	14
5. 11. 30	干支の箸袋	14
5. 12. 7	パソコン教室	12
5. 12. 14	干支のおりがみ	14
5. 12. 21	クリスマス大抽選会	14
6. 1. 4	パソコン教室	12
6. 1. 11	新年会	16
6. 1. 18	なべつかみ	10
6. 1. 25	ツボの講話	14
6. 2. 1	パソコン教室	12
6. 2. 8	脳トレダンス	18
6. 2. 15	ストラップ	14
6. 2. 22. 29	2週連続講座 携帯ストラップを作ろう	12
6. 3. 7	パソコン教室	12
6. 3. 14	コンサート	48
6. 3. 21	お茶席を楽しもう	13
6. 3. 28	お花見	14
合計	45 回	621

(2) パソコン広場 (チラシ)

◇おしゃべりカフェのチラシを作成合計 44 回 (延べ人数 591 人)



6. たかいし生活支援サポーター「町の便利屋さん」活動報告

(1) 登録会員数

	合 計	女性	男 性
協力会員数	9 7	4 9	4 8
利用会員数	767		
合 計	8 6 4		

(2) 相談件数

(件数およびコーディネート対応人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
相談件数	4 8	5 0	4 9	4 6	3 8	2 2	3 0
対応人数	4 8	5 0	4 9	4 6	3 8	2 2	3 0
	11月	12月	1月	2月	3月	合	計
相談件数	4 2	2 7	4 0	2 7	3 1	4 5 0	
対応人数	4 2	2 7	4 0	2 7	3 1	4 5 0	

(3)相談内容

支援区分	件数	支援細目及び件数
買物	1 3	食品・日用品等
家電・水道等交換修理	3 2	蛍光灯笠取替・蛇口修理・電話機点検等
屋外作業(草取・枝切等)	4 7	水やり・枝切り・草取り・階段掃除等
屋内作業 (掃除・片付等)	1 7	掃除・風呂掃除・換気扇掃除等
家具・建具修理・移動	4 2	家具移動・ごみ出し・椅子修理等
その他	1 9	生活ごみ出し・自転車の点検・修理等
合 計	170	

(4) 支援活動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
支援件数	8 0	93	106	9 9	7 6	8 7	9 4
対応件数	109	1 1 9	1 2 5	1 2 9	9 5	1 3 6	1 4 1
	11月	12月	1月	2月	3月	合	計
支援件数	93	1 3 9	1 0 1	7 9	7 1	1, 1	1 8
対応件数	1 2 8	1 8 5	109	1 0 1	9 4	1,4	7 1

7. 傾聴ボランティアグループ「えがお」活動報告

(1) 会員数

	合 計	男性	女性
登録人数	5 2	6	4 6

(R6.3 現在)

(2)活動内容

①施設訪問

高齢者施設等へ会員 $2 \sim 3$ 名程度で訪問し、施設を利用されている方のお話を $1 \sim 2$ 時間程度傾聴した。

※令和5年度は、下記の施設で、傾聴活動を行った。

- ・デイサービス:せかんど、いきいき工房、いきいき工房 極、さくらのはな
- ・サービス付き高齢者向け住宅: さくらの希

	活動件数	活動人数	
令和5年度	1 1 9	2 4 1	

②ふれあい電話

高齢者等を対象に安否確認も含めて週一回ご自宅にお電話し、お話を伺った。 実施日時:毎週月曜日(※祝日・年末年始除く) 午前10時~正午

	活動件数	活動人数	登録者
令和5年度	4 6	9 4	8

③Café たねまき運営のボランティア活動

地域の居場所づくり事業として、「NPO 法人せかんど」と共同で実施した。

開催日時:毎月第4水曜日 午前9時30分~11時

	利用者	世話人	実施回数
令和5年度	3 7 9	6 2	1 5

8. 第17回たかいしボランティア・市民活動フェスティバル

市内ボランティア・市民活動の啓発や宣伝及び交流の場として、高石市ボランティア連絡会との共催、高石市教育委員会、アプラたかいしの後援により実施した。

開催日:3月2日(土)午前10時~午後3時

場 所:アプラたかいし 大ホール・ホワイエ

内 容:各ボランティアグループの活動発表及びグループ紹介、ふれあいカフェ、

体験コーナー、福祉事業による物品販売、縁日等の実施

参加および協力団体:59団体

来場者数:1,126名

9. ボランティア体験プログラム(チャレボラ)の開催

子どもから社会人、高齢者など誰もがボランティア活動のプログラムに参加し、 さまざまな人々とのふれあいの中から、自分以外の他者や社会について関心と 共感を持ち、またボランティア活動への参加推進を図ることを目的として実施した。

① 開催日:7月15日(土)

内 容:『夏の集い場』

※コミュニティセンター内で、縁日ブース等のお手伝い

参加者: 4名

②開催日:8月21日(月)~8月25日(金)

内 容:『夏の集い多世代交流 老人福祉センターで夏を過ごそう』

※夏休み体験(eスポーツ・ボッチャ)や学習支援のお手伝い

参加者:延べ8名

③開催日:9月16日(十)

内容: 『ふれあいバザー』

※ボランティア連絡会主催のバザーの品出しやカフェ等のお手伝い

参加者:1名

④開催日:10月29日(土)

内 容:『元気に楽しみながら高石をキレイにしちゃえプロジェクト

ハロウィンごみひろいパレード&スカイランタン』

※イベント型のボランティア体験を企画し、若い世代からの参加促進を 図った。高石市内を仮装しながら清掃活動を行い、イベントの最後

には、願い事を書いたスカイランタンを打ち上げた。

参加者:87名

10. ボランティア表彰

令和5年度大阪府社会福祉大会において、個人ボランティアが表彰を受けた。

◇大阪府社会福祉ボランティアに対する大阪府知事表彰

個人ボランティア 菅原 晴茂 氏

11. ボランティア交流会

ボランティア同士の交流や情報交換を目的として、 高石市ボランティア連絡会との共催により開催した。

開催日:6月23日(金)

場 所:市役所別館3階 多目的ホール 内容:「ボランティアの魅力について」

たかいし生活支援サポーター「町の便利屋さん」

「寄席・パフォーマンス」

出演者 落語家 桂 福丸 氏・パフォーマー 暁 あんこ 氏

参加者:72名



12. ふれあいバザー

地域の方々に広くボランティアについて関心を深めていただくとともに、市民の 幅広い協力を得て、物品の提供から販売までを行い、その収益をボランティア事業 に活用するなど、地域福祉活動の充実を図ることを目的として、ボランティア連絡 会との共催により開催した。

開催日:9月16日(土)

内容:日用品等の販売、おしゃべりカフェ

13. ボランティア研修会

(1) ボランティア管外研修会

ボランティア同士の交流や情報交換並びに、ボランティア活動の取り組みの 見直し、発展等の視察を目的として、ボランティア連絡会との共催により開催した。

開催日:12月8日(月)

場 所:堺市総合防災センター

内 容:地震、消火、避難、応急救護を体験型で学び自助、共助の重要性に気づ

き、今後の対策に役立てる目的で実施した。

参加者: 41名

(2) 令和5年度傾聴ボランティア養成講座

○12月12日 (火)

「ボランティアの心構え」「傾聴ボランティアとは?」

講師:社会福祉協議会職員、吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

「傾聴を体験してみよう!(簡単なロールプレイ)」

講師:吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

○12月15日(金)

「認知症高齢者への接し方」

講師:アムール高石 統括責任者 米谷正次氏

○12月18日 (火)

「活動に向けての注意点等」

講師:吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

「傾聴のスキルを使ってロールプレイ」

講師:吹田傾聴「ほほえみ」代表 長谷川美津代氏

○参 加 者:11名



14. 大阪府市町村ボランティア連絡会の活動

大阪府内のボランティア連絡会が会員として加盟しており、情報交換や相互の交流 を図り、ボランティア活動の発展と地域福祉の向上を目指すことを目的とし活動した。

(1) 総会

開催日:5月29日(月)

内 容:令和4年度事業報告及び決算、令和5年度事業計画及び予算

(2) テーマ別研修会

開催日:12月18日(月)

内容:『未来のために知っておきたい、海とプラスチックの話

~日々のボランティア活動で私たちにできることを考える~』

講 師:同志社大学 経済学部 准教授 原田 禎夫 氏



(3) ブロック別交流会・研修会

開催日:1月22日(月)

場 所:社会福祉協議会 会議室(リモート開催のため)

内容:「ボランティア活動者を増やそう!

広報からはじめる活動のきっかけづくり!」

講 師:心を写すフォトグラファー SUBAL 氏

(4) 代表者会議・研修交流会

開催日:2月19日(月)

内 容:令和6年度事業計画·収支予算、令和5年度事業進歩報告等

ボラ活博覧会(活動発表、展示コーナー、体験コーナー)

活動発表・・・「パソコン広場」

(5) その他役員会等への参加

内容:役員会4回、大阪府ボランティア・市民活動センター運営委員会2回、

北摂・河南ブロック交流会 各1回

災害ボランティア支援事業

1. 災害ボランティアセンター設置訓練

高石市主催の地震津波総合避難訓練に参加し、関係団体の協力のもと、『避難・安 否・啓発』テーマを掲げ、地震・津波避難に主眼をおいた災害ボランティアセンタ ーの設置訓練を行った。

実施日時:11月1日(水) 午後1時30分~3時30分

実施場所:広域避難地、鴨公園周辺

2. 災害時における協定の締結

『災害時における災害ボランティア支援に関する協定』

締結団体: 堺高石ライオンズクラブ

締 結 日:12月11日

3. 令和6年能登半島地震復興支援

3市1町社会福祉協議会合同プロジェクト(和泉市・泉大津市・忠岡町・高石市) 現地視察により、災害ボランティア活動に必要な軽トラック車両が、不足していることを知り、3市1町社協による寄附(クラウドファンディング)による軽トラ

ック車両を購入し、被災地へ車両の貸出を行った。



高石市福祉施設連絡会の運営

市内の福祉施設と連携し、より一層の地域福祉推進を図るため福祉施設連絡会を設立し、取組を進めた。

・構成団体 11団体

日程	内容
	たかいしファミリーサポートセンター講習会 講師派遣
5. 11. 15	テーマ:「子どもの栄養と食生活」
	講師:社会福祉法人不易創造館
	加茂保育園 栄養士 中山 花月 氏

介護保険事業

1. 居宅介護支援事業

要介護認定者に対して充分なアセスメントを行い、適切な居宅介護支援計画 (ケアプラン) の作成や認定調査事業などを実施した。

(1) 居宅介護支援計画作成者数

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用	介護	3 9	3 9	3 6	3 3	3 6	3 3	3 0
者数	予防	0	0	0	0	0	0	0
	月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
利用	介護	3 3	3 0	2 8	3 0	2 8	3 9 5	32.9
者数	予防	0	0	0	0	0	0	0

(2) 要介護度別利用者件数

	区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護2	要介護3	要介護 4	要介護 5	合計
7	利用者数	О	0	9	5	7	4	3	2 8

(3) 要介護認定訪問調査受託件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	4	5	5	4	4	3	7
月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
件数	5	0	0	0	0	3 7	3. 0

在宅生活支援事業

1. 高齢者配食サービス事業

在宅高齢者の生活支援と生活の質の向上を図るとともに、独居高齢者等の安否確認を行なうことを目的として、高石市から受託実施した。

調理委託業者は4社、利用者が業者を選択できるよう取り組んだ。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用者数	6 1	6 1	6 5	6 5	5 9	7 2	7 5
配食数	9 1 8	9 4 4	1,061	9 5 6	1,064	1,124	1,141
	11月	12月	1月	2月	3月	合	計
利用者数	7 5	8 6	9 4	9 6	9 4		903
配食数	1,148	1,204	1,323	1,404	1,474	1	3, 761

- ·申請者数 75名(内 決定者75名 却下0名)
- ・配食サービス担当ケース会議 開催回数 75回

2. 高齢者見守り支援事業

福祉有資格者によるお一人暮らし世帯を中心とした、訪問活動による安否確認及び関係機関との連携による支援を実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
安否確認 件数	5 7 4	566	5 5 7	6 0 6	5 9 1	5 5 1	5 9 6
訪問相談 活動時間 (分)	6, 515	6, 645	6, 750	7, 095	6, 830	6, 830	7, 470
	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
安否確認 件数	5 7 8	6 2 1	5 5 3	5 5 8	5 9 2	6, 943	578. 58
訪問相談 活動時間 (分)	7, 140	7, 110	6, 465	7, 055	6, 915	82, 820	6, 901. 67

◇見守り・安否確認対象者数 (総数1,047名)

千代田 地区	高師浜 地区	羽衣地区	東羽衣 地区	加茂地 区	綾園地区	西取石 地区	取石地区
1 3 5	9 5	103	1 4 0	106	2 4 6	9 4	1 2 8

3. 日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい・精神障がいなどにより、日常生活を送る上での判断に支援を要する方々に対して、専門員及び生活支援員による福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービス提供をとおして、家計の改善や生活の安定化を図るとともに、定期的な訪問を通して生活課題を把握することで、権利侵害の防止や必要なサービス・支援機関へのつなぎ等、地域で安心した生活を送ることができるよう支援を行った。

一方、消費者被害等による財産侵害から本人の財産や生活を守るため、また、施設 入所に伴い不動産の売買等の法律行為が必要になった利用者に対して、法律相談を活 用するなど、司法等と連携し、成年後見制度への移行を支援した。

		【利用者内訳】				
	計	認知症	知的	精神	不明・	
	, , ,	高齢者等	障がい者等	障がい者等	その他	
●利用契約締結件数	7 6	3 9	1 1	2 6	0	
●新規利用者数	2 2	1 0	4	8	0	
●終了者数	1 1	5	2	4	0	
うち、成年後見制度移行者数	2	2	0	0	0	
●相談件数	1 2 3	6 8	1 4	2 5	1 6	
●活動件数	2,272	1, 050	3 2 3	8 9 9	0	

4. 高齢者等見守り機器給付事業

安否確認のために、見守り機器 (レフパック「振動センサー」) の利用を希望される 7 5 歳以上の方のみの世帯や、障がい者手帳をお持ちの方のみの世帯の方へ取り付けを行い、機器からの情報により、電話、訪問等により安否の確認を行った。

○利用者数

令和6年3月末現在 : 33名 令和5年度延べ利用者数:381名

○支援活動実施回数

安否確認	電話安否 支援	訪問安否 支援	家族安否 確認	緊急対応 支援	合 計
3 8 1	8 0	5 8	1 8	0	5 3 7

5. 買い物困難世帯支援事業

新型コロナウイルス感染症の感染者・濃厚接触者で、自宅療養を求められ、生活に必要な食料品や日用品の調達にお困りで、インターネットを活用し、ネットスーパーを利用することが困難な世帯に対し、電話等で聞き取り注文を受け、買い物を代行し自宅に届ける支援を、関係機関と連携し行った。

<事業実施期間:4月1日~9月30日まで>

6. 障害者総合支援事業

(1)計画相談支援事業

相談支援専門員を配置し、障がい者(児)等の相談に応じ、助言や連絡調整等の 必要な支援を行うほか、サービス利用計画(トータルプラン)作成を実施した。

①サービス等利用計画給付請求件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
請求件数	1 8	1 7	2 5	1 4	1 7	2 0	1 9
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
請求件数	1 8	1 7	1 8	1 9	2 1	2 2 3	18.6

②サービス等利用者計画担当利用者数)

利用者区分	身体障がい	知的障がい	精神障がい	障がい児	難病等	利用者合計
利用者数	1 1	3 9	1 9	1 0	1	6 4

令和6年3月現在

老人福祉センター運営事業(指定管理事業)

大人の集い場として高齢者等が趣味や娯楽、健康づくりを通じてお互いの交流を深めるための事業だけでなく、属性・世代を問わない地域のつながりの場、地域の身近な相談窓口・サポート機能の拠点づくりに努めた。またコロナ禍で控えていたバスツアーの再開を果たし、安心して外出できる環境を提供し、地域の身近な病院との協賛により安心できる地域のつながりの場を提供した。





1. 利用者数及びクラブ数 (同好会含む)

	年 度	瑞 松 苑	菊 寿 苑	慶 翠 苑	合 計
利用者数	令和4	34,791	12,803	22,704	70,298
	令和5	36,459	15,837	22,122	74,418
新規利用者数	令和5	7 0	4 8	6 5	183
クラブ数	令和5	1 2	1 1	1 2	3 5







2. 実施事業 (自主事業)

事業名	講座名	瑞松	苑・菊寿苑・慶翠苑
福祉用具展示	福祉用具展示		常時
	太鼓の達人大会	回数	1
各種大会	(瑞松苑のみ)	参加者	2 5 0
	22 - 1.0	回数	3
	ボッチャ大会	参加者	9 2
	18 00 1 0	回数	1
	e スポーツ大会	参加者	1 1 0
	due for a second of	回数	3
	新年カルタ大会	参加者	284
	「熱中症について」「聞こえの 相談会」「フレイル予防講座」	回数	23 ※印は随時開催
健康講座	「食の健康講座」「健康なんで も相談会※」「血圧測定会※」 「体組成計会※」	参加者	2,680
趣味娯楽講座	「手作り工作教室」「ウッドチップ香りの小瓶」「ちぎり絵アート講座」「寄せ植え教室」「音	回数	5 6
	楽の広場」「うたごえ広場」「通 信カラオケ」「オンラインコン サート」「e スポーツ」他	参加者	1,878
	「大人の英会話」「ハングル講	回数	9 9
教養講座	座」「スマホ教室」「暮らしの アドバイス講座」「防火講座」	参加者	1,998
/# # /- \-	「いきいき百歳体操」「わくわ く体操」「柔道整復師による運 動教室」「みんなでストレッ	回数	4 4 4
健康体操	チ」「ミュージックケア」「オ ンライン動画で体操プログラ ム」	参加者	8,016
111 (1) EE 1, 1, 1 A	「ママといっしょに」「ハロウ イン」「ハーモニカコンサー ト」「エレクトーンコンサー	回数	3 5
世代間交流会	ト」「夏の集い」「敬老の日の つどい」「クリスマス会」「新 年会」	参加者	1,936
防災訓練	「自主防災訓練・避難訓練」 「避難勧告と避難指示につい	回数	7
沙沙人可形木	て(菊寿苑のみ)」	参加者	9 2
介護相談	「健康なんでも相談会」		随時
ノロ 東江日 収入	・佐水なんくり行政公」	参加者	1,588
	「お出かけランチ」	回数	6
食交流・カフェ	「バスツアー」	参加者	1 1 9
	カフェ・ミニ喫茶	4). +n +√.	随時
		参加者	7,635

※新型コロナウイルス感染予防対策の為、パン・おかきの販売等は中止。

地域包括支援センター運営事業

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種を中心に、基本業務の「介護予防マネジメント事業」、「総合相談支援事業」、「権利擁護事業」、「包括的・継続的ケアマネジメント事業」の充実に取り組み、誰もが住み慣れた地域でその人らしい生活ができるように、多種多様な機関の協力を得ながら、『高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会』、『認知症サポーター養成講座』等を実施し、中核機関として地域包括ケアシステムの構築に取り組んだ。

1. 包括的支援事業

(1)総合相談支援事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続することができるように相談に応じ、どのような支援が必要かを把握することで、地域における適切なサービス、関係機関及び制度の利用につながるよう支援を行った。

① 相談方法(初回相談のみ)

来 所	訪問	電話	文 書	その他	合 計
499	5 6	4 2 2	1	3 6	1, 014

② 相談者(初回相談のみ)

TENCE (WHITENCE))						
本 人	家族	親類	高石社協 (生活支援 C)	介護支援専門員		
285	3 5 7	1 6	2 8	103		
計画相談支援 事業所	在宅福祉事業所	医療機関	他地域包括支援 センター	他基幹相談支援 センター		
7	1 4	5 4	1	0		
福祉事務所 (市役所)	警察署	生活関連	関係機関	福祉施設		
4 5	4	2 2	1	5		
福祉・民生委員	近隣・知人	その他	合 計			
3 2	3 8	1	1, 014			

③ 相談内容(延べ数)

1

5 9

なんでも相談	介護相談 (介護方法等)	介護知険 サービス	% 308 308	徘徊支援	フォーマルサーセンス
1,01	687	6 2 4	5	1 1	199
インフォーマルサーヒ゛ス	安否確認支援	生活困窮支援	虐待·権利擁護	日常生活自立 支援事業	成年後見 支援
1 2 9	2 3	184	6 4	3 4	3 2
認知症ケア	消費者被害 支援	医療・健康相談	行政手続き 支援	ケアマネジメ ント支援	講話等派遣 依頼
5 5	2	2 3 9	2 4 2	1 4 0	0
本事業問合せ	その他	合 計			

3, 744

2. 権利擁護事業

地域の住民や民生委員、介護支援専門員などの支援だけでは十分に問題が解決できない、適切なサービス等につなげる方法が見つからない等困難な状況にある高齢者が、地域において安心して尊厳のある生活を行うことができるよう、成年後見制度の活用促進、高齢者虐待の防止とその対応、困難事例への対応、消費者被害の防止・対応等の支援を行った。

- (1) 対応述べ件数 2,492件
- (2) 高齢者虐待防止支援検討会議

高齢者虐待対応協力者による個別の虐待事例に対する状況報告、援助方針、援助内容、各機関の役割、主担当者、連絡体制等についての協議を行うことを目的として、高齢者虐待防止支援検討会議を開催した。

- ① 高齢者虐待防止支援者実数:16名
- ② 高齢者虐待防止支援ケース検討会議開催回数:26回

(3) 成年後見制度利用促進事業

認知症や障がい等によって判断能力の低下が見られる場合に、適切なサービスの利用や財産管理、法律的行為などの必要な支援につなげるため、成年後見制度等に関する相談や、行政や司法等と連携し成年後見申立て手続き等の支援を行った。また、後見人等選任後は、本人を中心としたチームで本人を支援できるよう、本人及び関係者の顔合わせを開催する等の支援を行った。

①成年後見制度等相談対応件数 : 5 3件 ②成年後見申立て手続き支援件数: 2 0件 うち、審判確定件数 1 1件

【内訳】

類	型	申立人		
後見	9	本人	2	
保佐	1	親族	2	
補助	1	市長	7	

3. 介護予防マネジメント事業

二次予防高齢者が要介護状態等になることを予防するため、老人福祉センターの利用促進やコミュニティカフェの運営支援・講師派遣を行うなど、介護予防事業が包括的かつ効率的に実施できるよう必要な援助を行った。



4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

(1) 担当地域ケア会議

高齢者が住み慣れた地域で、安心してできる限り自立した生活を送ることができるよう、要支援・要介護となるおそれのある高齢者又はその家族を対象に、効果的な介護予防・生活支援サービスや地域の見守りシステム調整、又は入退院時の関係機関間の調整を行うことを目的として、高石市担当地域ケア会議を開催した。

① サービス担当者会議開催支援会議 開催件数:43回 参加者数:244名

② 入退院時多職種連携検討会議 開催件数:13回 参加者数: 69名

③ 権利擁護検討会議 開催件数:28回 参加者数:151名

(2) ケアマネジャー連絡会

市内でケアマネジメント支援活動をされている介護支援専門員を対象として、スーパーバイザー、弁護士等の講師による研修会を中心に、専門職としての資質の向上、利用者の立場に立ったケアマネジメント支援の向上及び業務の質の向上を目的として、ケアマネジャー連絡会を開催した。

開催日	内容	参加人数
5. 4. 19	第1回ケアマネジャー連絡会研修会多職種連携会議 「新型コロナ感染症の分類見直し後を見据えて」 講師:高石医師会在宅医療専任理事 松山クリニック 院長 松山 大樹氏	1 4 5
5. 7. 25	介護事業所管理者向けセミナー 「日本一高齢者が元気な"まち"」を目指して 講師:一般社団法人全国介護事業者連盟 理事長 斉藤 正行氏	6 0
5. 8. 2	基幹・包括支援センター合同研修会 「意思決定支援を踏まえた成年後見人等の事務に関するガイドラインの流れ」 講師:大阪弁護士会 弁護士 尹 英和氏	4 6
5. 10. 18	第2回ケアマネジャー連絡会研修会 「業務継続計画 (BCP) の作成」 講師:ProfessionalCareInternational 代表 片山 海斗氏	7 8
5. 11. 15	居宅介護事業所向けセミナー 自立支援型ケアマネジメントとリスクマネジメント 講師:東京海上日動ベターライフサービス 泉洋枝氏	2 5
5. 12. 14	令和5年度医療・介護・障がい従事者向け研修会 第1部講演会「顔が見える関係づくりに向けて」 講師:株式会社なないろ 代表 渡部 功司氏	1 3 0

(3) 主任介護支援専門員連絡会

市内の主任介護支援専門員との協働による組織で、介護支援専門員の資質向上の研修会企画や事例検討会、法改正等の情報交換・共有等を図るために連絡会を開催した。

会を開催した開催日	_。 内	参加人数
5. 5. 17	第1回定例会 ・多職種連携会議研修会の情報共有について ・グループワークの意見を共有 ・今後の事例検討について・その他	2 2
5. 6. 21	第2回定例会 ・台風2号により業務および利用者の対応で困った 事や課題の情報共有・その他 ・適切なケアマネジメント手法を利用した事例検討	2 2
5. 7. 19	第3回定例会・高齢者における精神疾患を併発する事例への対応 (訪問看護ステーション クーネル) ・その他・適切なケアマネジメント手法を利用した事例検討	2 2
5. 8. 16	第4回定例会 台風の影響により開催中止	_
5. 9. 20	第5定例会 ・終末期の利用者の支援について ・その他 ・適切なケアマネジメント手法を利用した事例検討	2 0
5. 10. 18	第6回定例会 ・社会資源について・SOS ネットワーク事業・日常 生活自立支援事業・配食サービス ・その他 ・適切なケアマネジメント手法を利用した事例検討	2 5
5. 12. 20	第7回定例会 ・ハラスメントについて事業所の取り組み ・その他 介護予防委託の請求について	2 2
6. 1. 17	第8回定例会・ハラスメントについて事業所の取り組み・災害について ・その他	2 5
6. 2. 21	第9回定例会・ハラスメントについて事業所のとりくみ・令和6年度介護報酬改定について・その他 個別避難計画について	2 5
6. 3. 13	第10回定例会 ・令和6年度介護報酬、制度改定セミナーの情報共有、意見交換等・令和5年度振り返り ・その他	2 6

(4) 法定外研修の開催

法定外研修(介護支援専門員の更新に必須の法に定めた研修以外のこと) を、大阪介護支援専門員協会高石支部と協働で行った。

開催日	内容	参加人数
	法定外研修	
5. 8. 21	「運営管理におけるリスクマネジメント」	7 1
	講師:泉田法律事務所 弁護士 泉田 健司氏	

(5) 高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会

道に迷うまたは、その恐れのある認知症高齢者等を早期に発見し、事故等の発生を防ぐために、関係行政機関(市役所・警察等)や、身近な生活に関わる商店等の協力を得て、早期発見のための協力連携の確保・連絡網等の整備(ネットワークの構築)や認知症ケアの広報啓発等を目的として、連絡会を開催した。

見守り支援事業登録者・協力団体数

- ① 登録者数 366名
- ② 登録団体数 171団体
- ③ 市内発令件数 1件

開催日	内容	参加人数
5. 6. 18	第1回 ・令和4年度高石市高齢者等 SOS ネットワーク 事業の活動状況について ・令和4年度認知症サポーター養成講座・キャラ バンメイトの活動状況について ・令和5年度 事業計画(案)について	1 9
5. 10. 11	第2回・要綱の改訂について・SOS ネットワーク事業の活動状況について・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトの活動状況について	1 6
5. 12. 14	第3回・SOS ネットワーク事業の活動状況について・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトの活動状況について	1 4
6. 2. 15	第4回・SOS ネットワーク事業の活動状況について・認知症サポーター養成講座、キャラバンメイトの活動状況について・令和6年度の事業計画について(案)	1 6

(6) 認知症初期集中支援チーム員会議

認知症の初期に大切な時期(約6ヶ月間)に 医療や介護の専門職につなぐことで、認知症の進行を防ぐことを目的として、支援を検討する会議を開催した。

開催日	内容	参加人数
5. 4. 12	第1回認知症初期集中支援チーム員会議 対象者(T.H)の支援者から、ヒアリングを 行い認知症初期集中支援チームにて、支援行う ことになった。対象者(M.T)は入院となる。	5
5. 6. 14	第2回認知症初期集中支援チーム員会議 対象者(M.T)については病院との連携を継 続中。対象者(T.H)本人、支援者からヒアリ ングを行い施設入所を検討していくことにな る。対象者(T.F)本人からヒアリングを行い 認知症初期集中支援チームにて、支援を行うこ とになった。	5
5. 10. 11	第3回認知症初期集中支援チーム員会議 対象者(M.T)は在宅退院は難しいとの主治 医の判断にて支援終了となった。対象者(T. H)は施設入所となり支援終了となった。対象 者(T.F)の家族よりヒアリンを行い支援継続 となった。対象者(Y.M)の支援者からヒアリ ングを行い認知症初期集中支援チームにて、支 援を行うことになった。	5
6. 1. 10	第4回認知症初期集中支援チーム員会議 対象者(T.F)については支援継続中。対象 者(Y.M)本人からヒアリングを行い支援を継 続。対象者(Y.M)の支援者からヒアリングを 行い認知症初期集中支援チームにて、支援を行 うことになった。	5
6. 3. 13	第5回認知症初期集中支援チーム員会議 対象者(T.F)状況確認後終了となる。対象 者(Y.M)本人、支援者とヒアリング行い支援 継続。対象者(Y.M)の家族よりヒアリングを 行い支援を継続。対象者(M.N)の家族からヒ アリングを行い認知症初期集中支援チームに て支援を行うことになった。対象者(Y.M) (Y.M)については5月に老人福祉センターで 対応予定。	5

(7) 認知症サポーター100 万人キャラバン事業

厚生労働省が推進しています「認知症を知り地域をつくる10カ年」キャンペーンの一環である「認知症サポーター100万人キャラバン事業」を展開し、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目的に、養成講座を実施した。

- ① サポーター養成総数:10,841名
- ② 令和5年度サポーター養成人数:588名
- ③ サポーター養成講座開催回数:17回(総回数296回)
- ④ キャラバン・メイト講師派遣数:34名
- ⑤ 開催実績

開催日	内容	参加人数
5. 8. 18	大阪信用金庫高石南支店(社会市民向け)にて実施	6
5. 9. 11	南海福祉看護専門学校(福祉専門職民向け)にて実施	3 7
5. 9. 15	一般市民(地域住民向け)にて実施	2 2
5. 9. 19	高石小学校(小学生向け)にて実施	5 7
5. 10. 6	大阪シルバー人材センター(社会市民向け)にて実施	7
5. 10. 16	ソラスト高石(福祉専門職向け)にて実施	1 9
5. 10. 30	高師浜地区民生委員(地域住民向け)にて実施	8
5. 11. 7	松井産業(社会市民向け)にて実施	5
5. 11. 14	取石小学校(小学生向け)にて実施	8 7
5. 11. 15	ハートケア羽衣(福祉専門職向け)にて実施	1 5
5. 11. 15	取石中学校(中学生向け)にて実施	1 4 0
5. 11. 24	羽衣小学校(小学生向け)にて実施	5 4
5. 11. 27	きのすら (障がい者作業所向け) にて実施	8
5. 11. 30	清高小学校(小学生向け)にて実施	4 4





(8) 介護者家族の会 <きくチャンの会>

認知症を有する家族を介護している方(家族)、介護を必要とする認知症の方、高齢者・障がい者など要介護者を介護している方(家族)が、相互の親睦を図るとともに、関係機関・団体との連携を密にし、要介護者と介護者(家族)の福祉向上を図ることを目的とし、平成27年に自主的な組織として設立し、事務局として運営を支援した。

開催回数: 9回 参加人数:89名



(9) 啓発活動等

防災訓練

第13回高石市地震・津波総合避難訓練に参加し、認知症に関する啓発を 行った。

開催日:令和5年11月1日 場 所:カモンたかいし

出前相談会

認知症の啓発・福祉のなんでも相談会を行った。

開催日:令和5年6月15日

場 所:大阪信用金庫高石南支店

商工フェステイバル

第40回商工フェステイバルに参加し、認知症の啓発・福祉のなんでも相談会を行った。 **エル 福 3** 3 1

開催日:令和5年10月15日

場 所:鴨公園グランド



介護福祉フェア

第17回たかいしボランティア・市民活動フェスティバルと同時開催。 事業所紹介、なんでも相談会を行った。

開催日:令和6年3月2日

場 所:アプラたかいしホワイエ

(10) 認知症地域支援推進員事業

認知症になっても住み慣れた地域で暮らせる仕組みづくりを推進するため、 認知症理解のための啓発活動、関係機関と情報交換や連絡会の開催など行う と協働し取り組んだ。

認知症地域支援推進員配置数:2名(地域包括支援センター業務兼務)

① 認知症啓発事業

認知症サポーター養成講座	17回	小中学校、企業など
その他	36回	小中学校福祉教育、防災訓練など

② ネットワーク構築事業

関係機関支援調整連絡会	5回	認知症初期集中支援チーム員会議
地域ケア会議参加	12回	多機関協働地域包括ケア会議
認知症支援連絡会参加	4回	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会
その他	9回	介護者家族の会

③ 認知症に関する相談支援事業

(11)参加会議

運営推進会議 市内地域密着型サービス事業者による開催 参加回数:36回(書面開催含む)

(12) VIVIANA (げんき) 通信の発行

市内の薬局、老人福祉センター等に設置、また地域のコミュニティカフェやサロン、見守り訪問活動の際に配布した。

4月	食中毒	10月	インフルエンザについて
6月	熱中症について その①	12月	高血圧について
8月	熱中症について その②	2月	褥瘡について

配布部数 7,248

5. 在宅医療・介護連携推進事業

(1) 多職種連携研修

開催日:令和5年4月19日 場 所:アプラたかいし大ホール

内 容:第一部研修会

「新型コロナ感染症の分類見直し後を見据えて」

講師:高石市医師会 在宅医療専任理事

松山クリニック院長 松山 大樹 氏

第二部グループディスカッション

「新型コロナ感染症拡大からの3年間と、これからについて」

参加者数:145名

(2) 多職種連携会議

開催日:令和5年12月14日 場 所:アプラたかいし2階フロア

内 容:第一部研修会

「顔が見える関係づくりに向けて」

講師:株式会社なないろ 代表取締役 渡部 功司 氏

第二部交流会

参加者数:140名





指定介護予防支援(予防給付)事業

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等を 適切に利用できるよう、その心身の状況、その置かれている環境等を勘案し、介 護予防サービス計画を作成するとともに、当該介護予防サービス計画に基づく指 定介護サービス等の提供が確保されるよう、介護予防サービス事業者等関係機関 との連絡調整などを行った。

(1) 介護予防支援計画作成者数

総件数	12,059	割合
地域包括作成数	10,407	86.3%
委託作成数	1, 652	13.7%

(2) 要介護認定訪問調査受託件数

総件数	高石市分	市外分		
4 8 4	471	1 3		

障がい者基幹相談支援センター運営業務

障がいの種別や特性にとらわれることなく、各種のニーズに対応し、障がい者・児の心身の健康の保持及び生活の安定、または自立した生活及び社会生活を営めるために地域においての相談支援の中核的な役割を担う機関として、社会福祉士・精神保健福祉士・主任相談支援専門員の3職種を中心に「総合的・専門的な相談支援業務」、「地域の相談支援体制強化業務」「地域移行・地域定着の促進への取組業務」「権利擁護・虐待防止支援業務」などの充実に取り組み、多種多様な機関と連携を図りながら、中核機関として共生社会の実現に向け取り組んだ。

地域生活支援事業

1. 総合的・専門的な相談支援業務

地域の障がい者・児が住み慣れた地域で安心して自分らしい生活または社会生活を 営み、継続できるように相談に応じ、その方の必要な支援を把握することで、適切な サービス、関係機関及び制度の利用につながるよう支援を行った。

①相談方法(初回相談のみ)

来所	訪問	電話	メール	文 書	出	コミカ フェ等	その他	合 計
1 9 8	1 8	1 4 0	2	0	0	0	9	3 6 7

②相談者(初回相談のみ)

本 人	家族	親類	高石社協 (地域包括支援C)	計画相談支援 事業所
9 1	9 1	2	4 4	3 7
在宅福祉事業所	福祉施設	他基幹相談 支援センター	福祉事務所 (市役所)	警察署
6	3	5	3 9	1
関係機関	福祉.民生委員	近隣・知人	その他	合 計
3 3	6	5	4	367

③本人状況(初回相談のみ)

<障がい者>

身体障がい者	重症心身 障がい者	知的障がい者	知的障がい者 疑い	精神障がい者
4 1	6	5 0	2	1 2 7
精神障がい者 疑い	高次能機能 障がい者	難病疾病者	その他 (不詳)	合 計
4 1	6	8	1 2	293

<障がい児>

	170 1 702							
身体障がい児	重症心身 障がい児	知的障がい児	知的障がい 児疑い	精神 障がい児	精神障がい児 疑い			
0	2	1 4	2	5	2			
発達障がい児	発達障がい児 疑い	高次能機能 障がい児	難病疾病児	その他 (不詳)	合 計			
2 7	2 1	0	0	1	7 4			

④相談内容

福祉サービ ス利用等	障がい・ 病状の理解	健康•医療	不安の解消 情緒安定	保 育 · 教育	家族• 人間関係	家計・経 済・年金・	
2 6 9	282	1 5 6	2 5 1	9 4	1 5 5	7 1	
年金手当	生活保護	生活技術	金銭管理	就労	社会参加· 余暇活動	権利擁護	日常生活自立支 援事業(金銭管理 支援)
1 3	2 4	173	3 6	9 3	5 9	2 1	3 6
成年後見制 度(説明・ 申立)	虐待防止 支援	徘徊支援	ケアマネジ メント支援	地 域 移 行・地域 密着支援	本事業 問合せ	その他	合 計
9	1 8	1	7 1	9	4	1 6	1, 861

^{*}今年度の傾向として、障がい児の支援件数が、昨年度と比較して倍以上に増加した為、 教育、子育て、こども未来室等との連携する機会が多くなった。

2. 地域の相談支援体制強化業務

(1)担当地域ケア会議

障がい者・児が住み慣れた地域で、安心して自立した生活または社会生活が 営めるように、障がい者・児またはその家族を対象に、効果的な生活支援サー ビスや地域の見守りシステムの調整、または入退院・施設入退所の関係機関間 の調整を行うことを目的とし、地域の相談支援機関や市外の相談支援機関およ び多種多様な関係機関との連携会議を開催した。

① サービス担当者会議開催参加支援会議 開催参加件数: 245件

参 加 者 数:1,417名

② 入退院時・施設入退所時多職種連携会議 開催参加件数: 11件参 加 者 数: 141名

③ 困難事例等支援会議

開催参加件数: 84件 参加者数: 111名

(2) 泉州地域障がい者基幹相談支援センター連絡会(今年度より阪南市参加)

泉州地域の障がい者基幹相談支援センターが連携し、お互いの知識及び技術の交流並びに研修などを行うことを通じて、泉州地域の障がい者・児に対し、健全で質の高いサービスを提供する環境を整えることにより、地域で暮らす障がい者・児の福祉の増進に寄与することを目的とし、泉州地域障がい者基幹相談支援センター連絡会に参加した。また相談支援専門員初任者対象ゼミ研修会を合同で開催した。

【参加市:阪南市、泉佐野市、貝塚市、岸和田市、和泉市、高石市】

開催日	「:阪用巾、永佐野巾、貝琢巾、岸和田巾、和泉巾、尚石」 内 容	参加人数
5. 8. 29	第1回泉州地域基幹相談支援センター連絡会議 ・相談支援事業所の情報交換 ・初任者対象ゼミについて ・その他	1 3
5. 9. 29	泉州地域基幹相談支援センター連絡会 研修会 (相談支援専門員初任者ゼミ) 打ち合わせ①	1 5
5. 10. 4	泉州地域基幹相談支援センター連絡会 研修会 (相談支援専門員初任者ゼミ) 打ち合わせ①	1 2
5. 11. 21 午前	泉州地域基幹相談支援センター合同・初任者ゼミ① ・障害特性の理解 ・相談支援専門員に求められるもの ・各市の障害者自立支援協議会について ・グループワーク	5 2
5. 11. 21 午後	泉州地域基幹相談支援センター合同・初任者ゼミ② ・制度やサービス利用について ・特定相談支援の業務過程について ・グループワーク	5 2
5. 11. 22 午前	泉州地域基幹相談支援センター合同・初任者ゼミ③ ・サービス等利用計画の記載方法 ・各市町村における特定相談支援のルール ・各種加算について ・グループワーク	5 7
5. 11. 22 午後	泉州地域基幹相談支援センター合同・初任者ゼミ④ ・地域の相談支援体制の理解 ・相談機関の役割や機能 ・地域の社会資源について ・グループワーク	5 7
6. 2. 27	第2回泉州地域基幹相談支援センター連絡会議 ・初任者対象ゼミの振り返りについて ・相談支援事業所の情報交換 ・自立支援協議会の取り組みについて ・その他	1 3





(3) 障がい者自立支援協議会

障がい者等への支援の体制整備を図るため、地域の関係者、行政機関、地域の支援機関が集まり、障害福祉行政や障害福祉計画の進捗管理をはじめ、地域課題やその取組内容についての情報の共有、課題別部会における成果と課題の評価、新たな地域課題での取り組み、地域診断や部会における課題を協議し、協議会運営の方向性の合意形成を図り、地域のサービス基盤を進めていく重要な役割を担う場として開催した。

開催日	内容	参加人数
5. 9. 21	第1回定例会 ・各専門部会からの活動報告 ・事例紹介・意見交換 ・その他	2 4
6. 3. 12	第2回定例会 ・自立支援協議会の役割について ・各専門部会から活動報告について ・高石市の地域課題について ・その他	2 4





(4) 障がい者自立支援協議会専門部会

専門的事項について、分野別に検討し、その結果を自立支援協議会に報告するものとして開催した。

開催日	して開催した。	参加人数
5. 6. 20	第1回 相談支援部会 ・障害福祉事業所による事業紹介 ・研修会のスケジュールについて ・その他	4 0
5. 9. 13	第2回 相談支援部会 ・制度につながらない方の居場所づくりについて ・前回の研修の振り返り ・今後の研修についての意見交換 ・困難事案について⑤ ・その他	1 5
5. 12. 13	第3回 相談支援部会 ・新規相談支援事業所の紹介 ・グループワーク ・各グループより発表 ・その他	1 6
5. 7. 20	第1回 就労支援部会 ・自己紹介 ・副部会長選出について ・市役所より今年度の方針等について ・今年度の日程、研修について ・グループワーク	1 7
6. 2. 13	第4回 相談支援部会・第2回 就労支援部会合同部会・高齢障がい福祉課より・就労支援部会について ・相談支援部会について・グループワーク(困りごとの共有と連携について)・その他	2 7
5. 7. 10	第1回 児童支援部会 ・自己紹介 ・地域の教育現場の決済方法について ・和泉支援学校の事例発表 ・各事業所の空き状況について	2 0
6. 2. 9	第2回 児童支援部会 ・地域の福祉避難所について ・グループワーク ・グループワーク発表	1 3
5. 9. 5	第1回 地域移行・居住生活支援部会 ・地域移行・地域定着の現状について(和泉保健所より) ・地域移行・地域定着についての意見交換 ・その他	2 2
6. 2. 20	第2回 地域移行・居住生活支援部会 ・グループワーク (BCP 作成の進捗状況について) ・グループワーク発表・質疑応答 ・その他	18

(5) ネットワーク構築連携

障がい者・児の社会参加を進めるため、地域課題の解決や、社会資源の開発・ 活用を他職種、他領域と連携しネットワーク構築を行った。

開催日	内容	参加人数
5. 4. 10	SNS ツール活用検討会作業部会に参加	9
5. 4. 27	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	9
5. 5. 30	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 4
5. 6. 18	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会議に参加	1 9
5. 6. 22	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 0
5. 6. 27	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 4
5. 7. 26	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 3
5. 8. 24	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 1
5. 9. 8	千代田民生委員情報交換会に参加	2 5
5. 9. 14	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	8
5. 9. 19	医療的ケア児支援にかかわる連携会議に参加	2
5. 10. 11	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会議に参加	1 6
5. 10. 13	民児協・東羽衣地区・情報交換会に参加	2
5. 10. 15	高石商工フェスティバルに参加	2
5. 10. 17	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 1
5. 10. 25	民児協・綾園地区・情報交換会に参加	2 4
5. 10. 31	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 4
5. 11. 20	重層的支援体制整備事業を加支援事業作業部会に参加	1 0

開催日	内容	参加人数
5. 11. 27	児童連絡会 子育て相談会に参加	2
5. 11. 28	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 2
5. 12. 14	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会議に参加	1 4
5. 12. 14	医療・介護・障がい従事者(専門職)向け研修会-在宅 医療・介護連携事業-顔が見える関係交流会に参加	1 3 0
5. 12. 21	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 0
5. 12. 26	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 3
6. 1. 17	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 0
6. 1. 23	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 1
6. 1. 26	熊取町引きこもり家族の居場所支援参加	1 1
6. 1. 31	重層的支援体制整備事業 参加支援事業/ひきこもりに 関する講演会 打ち合わせに参加	1 1
6. 2. 15	高齢者等 SOS ネットワーク事業連絡会議に参加	1 6
6. 2. 19	重層的支援体制整備事業参加支援事業作業部会に参加	1 0
6. 2. 20	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 3
6. 2. 26	精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に 係る「市町村単位の協議の場」に参加	9
6. 3. 1	大阪府和泉保健所 精神保健福祉圏域連携会議に参加	3
6. 3. 2	たかいしボランティア・市民活動フェスティバルに参加	1 6
6. 3. 12	高石市配食委員会に参加	2 8
6. 3. 19	泉北ブロック進路指導関係機関連絡会に参加	2 1
6. 3. 26	生活困窮・多機関協働地域包括ケア会議に参加	1 1

(6) 啓発活動等

福祉教育の実施

子どもたちの「考える」機会を提供し、誰もが安心して暮らせる、住みよいまちづくりを目指し、福祉教育を開催した。

対 象 者	開催日	生徒数	内 容
南海福祉看護専門学校2年生	5. 9. 11	3 7	• 地域福祉論講義
			・認知症サポーター養成講座
清高小学校3年生	5. 9. 12	3 5	・車いす体験
高石小学校4年生	5. 9. 19	5 9	・認知症サポーター養成講座
			・車いす体験、アイマスク体験
1.775 烛盘) 4. 人 古田 兴县 4 左 4	5 0 00	0.0	・点字体験
大阪健康ほいく専門学校1年生	5. 9. 29	8 0	・車いす体験・アイマスク体験
取石小学校4年生	5. 11. 7	8 7	・車いす体験・点字体験
取石小学校4年生	5. 11. 14	8 7	・認知症サポーター養成講座
取石中学校1年生	5. 11. 16	201	・車いす体験・アイマスク体験
			・点字体験
			・認知症サポーター養成講座
東羽衣小学校3年生	5. 11. 17	1 0 7	・車いす体験
加茂小学校4年生	5. 11. 20	8 1	・車いす体験
羽衣小学校4年生	5. 11. 24	5 4	・認知症サポーター養成講座
清高小学校5年生	5. 11. 30	4 4	・認知症サポーター養成講座
羽衣小学校4年生	5. 12. 1	5 4	・点字体験
羽衣国際大学3年生	5. 12. 4	3 7	・ボランティア地域福祉論講義
清高小学校4年生	5. 12. 7	5 1	・点字体験
			・アイマスク・高齢者疑似体験
高石中学校1年生	6. 1. 19	1 4 0	・車いす体験・点字体験
			・アイマスク・高齢者疑似体験
			・認知症サポーター養成講座
高陽小学校4年生	6. 2. 22	5 5	・車いす体験・点字体験
高陽小学校4年生	6. 3. 5	5 5	・認知症サポーター養成講座







3. 地域移行・地域定着の促進への取組業務

障がい者支援施設や病院等に入所又は入院している障がい者を対象に、住居の 確保その他の地域生活へ移行するための支援に取り組んだ。

① 精神科病院からの地域移行:8名② 一般病院からの地域移行:4名

4. 権利擁護 · 虐待防止支援業務

本人や本人の家族、または地域住民や相談支援専門員などの支援だけでは十分に問題を解決できない、適切なサービス等につなげる方法が見つからない等、困難状況にある障がい者・児が、地域において安心して尊厳のある生活を送れるように成年後見制度・日常生活自立支援事業の利用促進、障がい者・児虐待の防止とその対応、困難事例への対応、消費者被害の防止・対応などの支援を行った。

- 対応延べ件数:176件
- ② 障がい者・児虐待防止支援検討会議

障がい者・児の虐待対応協力者による個別の虐待事例に対する状況報告、援助方針、援助内容、各機関の役割、主担当者、連絡体制などについての会議を行うことを目的として、障がい者・児虐待防止支援検討会議を開催した。

- i. 障がい者・児虐待防止支援実数:6名
- ii. 障がい者・児虐待防止支援ケース検討会議開催回数:11件
- ③ 成年後見制度・日常生活自立支援事業利用促進業務

精神障害や知的障害、認知症等によって判断能力の低下が見られる場合に、適切な障がい福祉サービスの利用や金銭管理、法律的行為などの支援につなげるため、成年後見制度および日常生活自立支援事業の対象になり得る事案に対して積極的に介入し支援を行った。

i. 日常生活自立支援事業: 8名 ii. 成 年 後 見 制 度:11名

5. 第31回ふれあいスポーツ大会

障がい者・児の社会参加の促進と市民の障がいに対する理解を深め、「共に生きる社会をめざす」交流の場づくりを目的として、本大会を開催した。

開催日:令和5年11月11日

場 所:カモンたかいし

参加者数:345名(内協力者:97名)





生活支援事業

1. 生活福祉資金貸付事業

大阪府社会福祉協議会からの受託により、各種生活福祉資金の貸付を行った。

種	類	福祉資金	教育支援 資金	緊急小口 資金	総合支援 資金	臨時特例 つなぎ資金	不動産担保 資金
相	談	3 3	1 6	4 0	0	0	2
申	込	3	3	3	0	0	0
決	定	3	3	3	0	0	0

2. 新型コロナウイルス特例貸付債権管理事務事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入が減少または失業した方がおられる世帯に貸付を行った後、令和5年1月より償還が開始された世帯に対して、大阪府社会福祉協議会からの受託によりフォローアップ支援を行った。

① 支援件数

	未応答世帯	免除対象外世帯	免除世帯	合 計
訪問支援	290	0	0	290
SMS メッセージ 送信	6 0 3	4 6 8	7 1 3	1, 784

② 未応答世帯訪問支援 (アプローチ) による対応 (反応) 件数

相談内容	件数	合計
償還猶予申請	1 0	
償還免除申請	2 0	
償還手続き	3	4 8
住所変更申請	2	40
生活相談	1 1	
債務整理相談	2	

③ 弁護士相談会相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
		3	3	1	4	0
11月	12月	1月	2月	3月	合	計
1	0	2	2	1	1 7	

3. 生活困窮者自立支援事業

(1)経済的困窮者や社会的孤立の状態にある方一人ひとりの状況に合わせて包括的かつ 継続的な支援等を実施し、専門の支援員が他機関と連携し、問題解決に向けた支援 に取り組んだ。

① 相談件数

男性	女 性	不 明	合 計
1 4 0	1 4 0	4	2 8 4

② 相談内容

病気や健康障害など	住まいに ついて	収入・生活 費のこと	家賃やロー ンの支払い	税金や公共 料金の支払 い	債務に ついて
6 1	4 7	192	4 9	3 2	2 8
仕事探しに ついて	仕事上の 不安	地域との関 係について	家族との関 係について	子育ての こと	介護のこと
5 9	8	1	1 7	1 2	7
ひ き こ も り・不登校	DV・虐待	食べるもの がない	その他	合 計	
7	1	1 4	1 8	5 5 3	

③ 対応・方針結果の内訳

情報提供・相談対応	他制度・他関係機関等	本人未同意・同意に向	その他
のみで終了	へのつなぎ	けて取り組む	
1 6 9	1 1 5	0	0

(2) 地域で広がる孤立や孤独、失業や職場定着困難により、今日・明日食べ物がない 生活困窮などの厳しい生活を送られている方や世帯に対して、フードバンク高石事 業より緊急一時的な食材支援を行った。

世帯数	人数	食材
2 6	5 0	お米・缶詰・麺類(乾麺) レトルト食品など 合計:約69kg

(3) 家賃の滞納や、災害等で住居を失った生活困窮者に対して、一定期間内で宿泊場所 や食料などの緊急一時的な生活の場を提供した。

相談・問合せ件数	相談・問合せ件数 支援実施世帯数	
1 2	3	1 4

4. フードバンク高石事業

地域における子ども食堂運営団体、コミュニティサロン活動団体、社会福祉施設、 要支援生活者を支援する特定非営利活動法人および地域交流事業団体などに、活動費 の負担軽減を図り、併せて地域福祉の向上や世代間交流の場を確保するなど社会福祉 の推進を図ることを目的とし、食料品の無償提供を実施した。

- ① 食材支援回数 40回
 - 関西スーパーマーケット高石駅前店より、週1回食材支援の提供を受け、 市内子ども食堂等に提供した。
- ② 食材提供先の団体数 81団体(延べ)
- ③ 食材支援協力団体(2団体)
 - ・関西スーパーマーケット高石駅前店(年間約659.355kg)
 - · 大阪信用金庫高石南支店(年間2回)
- ④ 地域からの支援協力(15名と3団体)
 - ・関西スーパーマーケットからの寄付金 合計500,000円
 - ・楽庵より缶詰め食品
 - ・地域住民より野菜やお菓子、調味料等の食材
- ⑤ 子ども食堂懇親会開催 3回 3ヵ月に1度開催。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開催回数	3	3	3	4	5	3	
利用者	273	490	4 6 0	2 9 1	2 1	268	
世話人	2 4	5 6	5 7	6 5	0	6 2	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
開催回数	4	4	4	3	5	4	4 5
利用者	3 8 3	4 4 7	270	6 6 7	3 4 2	4 0 8	4, 320
世話人	6 5	3 5	3 7	7 2	5 2	4 5	5 7 0

- ⑥ 子ども食堂・世代間交流実施団体 9団体 今年度は、新型コロナウイルス感染も落ち着いたため、会食での子ども食堂 が多く実施された。
- ⑦ その他 ボランティアフェスティバルにて、フードドライブ・子ども食堂の周 知をチラシや地図を用いて行った。また、各子ども食堂団体へ、お米や野菜、カレールー等の食材支援を行った。







地域支援事業

1. 校区福祉委員会活動の推進

(1) 校区福祉委員長会議の開催

校区福祉に関する事業の情報交換により、市内校区福祉活動をより一層促進し、 また校区間の連携を密にするため、次のとおり校区福祉委員長会議を開催し、校区 福祉委員長同士の意見交換等を行った。

開催日		会議	内	容
	案件 1. 各校区	福祉委員会の総合	会及び役員改	選について
	2. 令和5	年度賛助会員の	募集について	
5. 5. 12	3. 孤立せ	ブロプロジェクト	事業の活動に	ういて
	4. 役割申	し合わせ事項に	ついて	
	5. 校区福	福祉委員会の近況 は	こついて	
	6. その他	<u>1</u>		
	案件 1. 令和5	年度賛助会員の	募集について	
	2. 重層的	支援体制整備事	業について	
5. 7. 7	3. 個別遊	産難計画について	(情報提供)	
	4. 各校区	[福祉委員会の近]	兄について	
	5. その他	Ī		
	案件 1. 各校区	福祉委員会の近海	兄について	
	2. 令和5	年度賛助会員の	募集活動につ	かいて
5. 9. 1	3. 孤立せ	[ロプロジェクト]	事業の活動に	ついて
	4. いきか	い・助け合いオ	ノラインフェ	スタ 2023 の開催について
	5. その他	<u>I</u>		
		福祉委員会の近海		
5. 11. 1		年度賛助会員の		
	•	゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゚゙゙゙゙゙゙	事業の活動に	ついて
	4. その他			
		[福祉委員会の近流		
		年度賛助会員の		
		福祉委員会における。 - 12 20 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21 21		
	• •	年能登半島地震。		
6. 1. 12		7支援(移動販売 ¹	. , . , , , , , ,	
		年度校区福祉委员		
				助成金制度について
	· - /		=	·和5年度事業報告・
		年度事業計画に [、] 3祉委員長会議設[-	みてについて
	9. 校区値 10. その他	.,	■女神♡ ̄部	DEX III. (C. JV · C
	1 U. CV/1	<u> </u>		

(2) 校区福祉活動の啓発

機関紙「たかいし福祉」の発行時に、校区福祉委員会から選出された編集委員を 通じて、校区福祉委員会での活動を校区だよりのページにおいて紹介し、活動内容の 啓発及び地域への福祉活動参加の呼びかけを行った。

2. セーフティネット事業

(1) 小地域ネットワーク活動の推進

校区福祉委員会を中心に自治会・民生委員児童委員協議会等市内主要団体の方々にご協力いただき、独居高齢者を中心に見守り・声かけによる個別援助活動を展開した。また地域で孤立しがちな援護を要する方々の集いの場として「いきいきサロン」の開催などによるグループ援助活動も実施し、「隣人同士が顔の見える関係づくり」を構築し、地域で安心して暮らせるまちづくりを目指した。

①個別援助活動

一人暮らし高齢者等や児童の登下校など、地域の中で安心して暮らせるよう、近 隣住民が中心となった見守り活動を行った。

一人暮らし高齢者等	対象者及び協力者 (延べ人数)
八合りし同圏石子	155,241

②グループ援助活動

いきいきサロンや世代間交流会など、地域の会館等を活用し、生活支援コーディネーターによる軽体操を行ったり、小学生等が参加しやすいラジオ体操を企画し、 ふれあいネットワークの輪を広げていく活動を行った。

いきいきサロン	実施回数	5 7
	参加者総数	7,012
世代間交流	実施回数	5 2
些[利]文 加	参加者総数	2,980
地域リハビリ	実施回数	4 2
地域リバビリ	参加者総数	1,178





(2) コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業の実施

コミュニティソーシャルワーカー (いきいき地域支援員)を2名配置し、総合相談窓口として生活困難ケースの支援、市生活保護担当係との連携、地域包括支援センターとの協働などを通じて市民から寄せられる様々な相談に応じた。また、ケースへの対応を通じて関係機関へ適切に紹介を行った。

1 人暮らし 高齢者	高齢者のみ の世帯	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	子育て中の 親子
2 1 4	7 1	8	1 7	6 1	7 1
一人親家庭の 親 子	青 少 年	DV被害者	ホームレス	外国人	その他
1 2 0	0	0	9	1 4	5 0 9
合 計					
1, 094					

相談内容

福祉制度・サー ビスに関する 相談	生活に関する 身近な相談	健康・医療に 関する相談	生活費に関する 相談	就労に関する 相談	財産管理・権利 擁護に関する 相談
2 1 7	6 5 0	2 2 0	685	227	8
消費者被害に 関する相談	多重債務に関 する相談	DV・虐待に関 する相談	地域福祉・ボランティア 活動に関する相談	住宅に関する 相談	子育て・子どもの 教育に関する相談
4	4 4	1 2	4	2 2 9	5 0
その他	合 計				
1 1 7	2,467				

生活支援体制整備事業

1. 生活支援コーディネーター事業

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことを目的とし、 関係機関のネットワークや社会資源の活用・開発等を行い、コーディネート業務に 取り組んだ。

- ① 生活支援コーディネーター配置数 7名(介護ケアマネジメント業務兼務)
- ② 居場所づくり事業 (地域住民主体運営型)

	開 設 数	設立支援数	運営支援ヵ所数	スタッフ派遣数
コミュニティカフェ	3 9	2	273	5 3 7

	参加者数
世話人	1,494
利用者	4,715

2. ネットワーク構築事業

	参加回数	派遣人数
地域調整会議	6 4	1 5 9
関係機関等連絡会	2 4	8 4

3. 多機関協働の居場所づくり事業

Café たねまき

市役所別館1階のロビースペースを活用し、地域の誰もが集え、生活情報や地域活動を知って頂く場づくりを目的として、関係団体と協働で居場所づくり 事業の企画・運営を進めた。

日 時:每週水曜日午前9時30分~午前11時

場 所:高石市社会福祉協議会

○協力団体

- NPO法人やまびこ(第1、第3水曜日)
- ・NPO法人コラール明日架 (第2水曜日)
- NPO法人せかんど・傾聴ボランティアグループ「えがお」 (第4、5水曜日)

重層的支援体制整備事業

(高石市「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業)

1. 参加支援事業

(1)参加の場づくり事業

いきいきサロンやコミュニティカフェの参画・運営支援を行った。

① 生活支援コーディネーター会議

地域の課題や現状など、情報共有や情報交換を行った。

○令和5年度開催実績:12回

述べ参加者数:150名

○コミュニティカフェ新規立ち上げ支援:2カ所

② ひきこもりに関する講演会

地域課題に対する研修会として、またアウトリーチ等を通じた継続的支援事業やフォローアップの1つとして、第2回目となるひきこもりに関する講演会を開催した。また、今回初の試みとなる座談会も開催した。

○開催日時

2月2日(金)講演会:午後1時30分~午後3時00分

座談会:午後3時30分~午後4時30分

○開催場所

講演会:アプラたかいし小ホール、ギャラリー、オンライン配信

座談会:ギャラリー

○参加者

講演会:110名

(小ホール:84名、ギャラリー:7名、オンライン配信:19名)127名

座談会:38名

○内容

講演会:ひきこもりの方への関わり方や支援方法

~わたしたちの地域でできることを一緒に考えませんか?~

・「孤独・孤立」時代のひきこもり支援等について。市町村プラットフォーム、居場所づくりによる地域共生社会の推進等について。

座談会:テーマ「ひきこもり」

・問題解決を目的としない、当事者、その家族、支援者など様々な立場の方が集まり思いを語る場所、「地域のプラットフォーム」の始まりとして初めての開催。





③ こころの居場所づくり「わたしたちの居場所がここにあるよ」

ひきこもりの当事者やその家族および孤立や孤独を抱えた方の居場所として、カフェたねまきを開放。カフェや移動図書館を設置し、何にも強制されず、個々が思うような時間を過ごし、必要があれば専門職(社会福祉士等)が相談支援を実施。添付チラシについては、障がい福祉サービスの利用者が作成され、高石市内のスーパーやコンビニ、障がい福祉サービス事業所への掲示を依頼。また、社協公式LINEや障がい福祉サービス事業所のインスタグラム等にも掲載し、高石市内にも、このような「居場所」があるということを周知した。

○開催日時

令和5年12月4日(月)~令和5年12月8日(金) 午後1時30分から午後4時

○開催場所 高石市役所別館1階 カフェたねまき

○参加利用者 30名

○カフェ開催協力団体 特定非営利活動法人せらび きのすら NPO 法人明日架 コラール明日架 特定非営利活動法人 児友館 LYM





④ 社会参加に向けての支援

公的制度やサービスでは十分に対応できない、いわゆる制度の狭間にいる対象者 や社会的・地域的課題に対しての取り組みを行った。

就労体験支援	5件	ポスター作製、カフェ運営のお手伝い
社会参加体験支援	5件	こころの居場所におけるカフェの開催

⑤ 参加支援事業作業部会

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業によりつながりを持った、若年層への居場所づくり(社会資源の開発)や障がい福祉サービスに至らないひきこもり状態の方への支援、就労支援講座の開催等の検討会議を行った。

○作業部会の実施

)作業部会の第	
開催日	内容
5. 4. 27	第6回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・伴走型支援活動の実施状況について ・その他
5. 6. 22	第7回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・伴走型支援活動の実施状況について ・その他
5. 8. 24	第8回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・伴走型支援活動の実施状況について ・その他
5. 9. 14	第9回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・その他
5. 10. 17	第10回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・今後の予定と討議事項 ・その他
5. 11. 20	第11回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・その他
5. 12. 21	第12回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築について ・伴走型支援活動の実施状況について ・その他
6. 1. 17	第13回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築活動について ・その他
6. 2. 19	第14回 参加支援事業作業部会 ・社会資源の構築活動について ・その他

○就労支援講座の開催

就労支援につながるためのスマートフォン教室を開催した。

·開催日時:①3月5日(火)午前10時~午前11時30分

②3月14日(木)午前10時~午前11時30分

・場 所:①高石市社会福祉協議会 たねまき Café スペース

②コラール明日架

・参 加 者:①6名

②6名

○専門職サポーターによる訪問支援

ひきこもり状態の方を抱える世帯に対し、相談窓口の周知・関係性構築・ 社会参加へのきっかけづくり等のため、定期的な訪問を行った。

訪問件数	12件
訪問回数	32回





2. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

(1)令和5年度孤立ゼロプロジェクト事業

地域・専門職・市、社協の三者で協力し、高石市在住の世帯に対して、訪問調査を実施した。数年間かけ全世帯を訪問する中で、暮らしについての不安や困りごと、その他の日常生活の状況を把握することにより、これからの地域福祉のあり方や地域で支え合う仕組みづくりの実現に向けた『伴走型(寄り添い)支援づくり』を行った。

○述べ活動者数:433名

○地域調整会議の実施







開催日	内容
5. 5. 16	加茂校区第1回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 6. 19	加茂校区第2回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 10. 16	高石校区第1、2回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 10. 19	高石校区第3、4回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 10. 26	東羽衣校区調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 11. 27	羽衣校区第1回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う
5. 12. 20	羽衣校区第2、3回調整会議 ・アウトリーチ活動の意義や活動方法について説明および情報 共有を行う

○訪問調査活動の実績

校 区	訪問数	対 面	拒 否	不在 ※ポスティング	
高陽	令和4年度終了				
高石	1,540	3 8 0	1 1 2	1,160	
羽衣	1,947	407	1 3 9	1,540	
清高	0	0	0	0	
加茂	4 3 8	3 9	8	3 9 9	
東羽衣	2 6 1	1 1 2	2 8	1 4 9	
取石	0	0	0	0	
合 計	4,186	938	287	3,248	

※対象世帯数:26,284世帯

3. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

育児・介護、障がい、貧困さらには育児と介護に同時に直面する家庭など、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを推進した。

配置人数 相談支援包括化推進員 2名

○相談方法(初回相談のみ)

来 所	電 話	訪問	メール	アプラ・カフェ	その他	合 計
4 7	9 6	4 2	1	0	1 8	$2\ 0\ 4$

○相談者

本人・家族	福祉施設関係	関係機関	アプラ高石	郵便局	その他	合 計
4 2	1 0	5 3	0	18	8 1	204

○相談内容

病気や健康等	障がい	DV・虐待	引きこもり ・不登校	家族との関係			
6 7	1 1	5	1 3	1 2			
介護や認知症	就労(失業・ 不安定)	借金や債務	経済的困窮	地域や近隣 住民との関係			
1 0 9	9	0	1 9	8			
子育て	住まい	金銭管理・ 権利擁護	その他	合 計			
2	4	1 5	7 0	3 4 4			

○世帯構成

単身	夫婦のみ	核家族	親族と 同居	入院中• 施設入所	その他 (不明)	合 計
9 3	2 7	2 9	2 9	7	1 9	$2\ 0\ 4$

○世帯構成年齢

0~18歳	19~39 歳	40~64 歳	65 歳以上	不 明	合 計
9	1 5	3 6	193	6 0	3 1 3

○連携支援先

市生活保護 担当部署	市子ども 担当部署	市高齢 担当部署	市保険・年金 担当部署	その他市 担当部署
9	2	1 1	1	6
児童相談所	消費生活 センター	医療機関	自立相談 支援機関	地域包括支援 センター
0	0	2 0	2 1	108
ケアマネ・ 介護事業所	保健所・ 保健センター	引きこもり支援 センター	障がい者支援 機関	学校・教育機関
1 0 6	О	О	2 4	О
警察	社会福祉協議会	NPO・ボラン ティア団体	電気・水道等 生活関連機関	商店街・商工会 等経済団体
4	5 9	8	0	1
不動産会社	一般企業	民生委員・福祉 委員・自治会等	その他	合 計
0	7	4 1	1 1 0	5 3 8

(1) 多機関協働地域包括ケア会議

市各課と社会福祉協議会関係機関が一同に集い、困難事例等に関するケース検討や情報共有、支援プランづくりを行った。

開催日	内 容
5. 4. 25	第1回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 5. 30	第2回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 6. 27	第3回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 7. 26	第4回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 8. 29	第5回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 9. 26	第6回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 10. 31	第7回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 11. 28	第8回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
5. 12. 26	第9回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
6. 1. 23	第10回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
6. 2. 20	第11回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討
6. 3. 26	第12回多機関協働地域包括ケア会議 ・新規ケース検討(1件)・支援プラン作成数・継続ケース検討

4. 共助の基盤づくり事業

(1)小地域包括化推進委員会の設置

住民の身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりを行った。個別訪問活動の対象者検討や、見守り活動の方法について、意見交換やグループワークを行った。

○高石校区

開催日	内容
5. 4. 12	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
5. 4. 24	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
5. 5. 12	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
5. 6. 9	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
5. 6. 13	グループディスカッション ・地域の見守り活動について、方法や対象の検討
6. 2. 15	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
6. 3. 29	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換

○羽衣校区

開催日	内容
5. 4. 14	小地域包括化推進委員事前会議 ・地域の見守り活動について、課題などの情報共有・情報交換
5. 7. 3	グループ援助活動検討会議 ・新規開設コミュニティカフェの進め方について

○高陽校区

開催日	内容
5. 4. 10	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 5. 8	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 6. 12	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 7. 10	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 8. 7	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 9. 11	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 10. 10	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 11. 13	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
5. 12. 11	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
6. 2. 13	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて
6. 3. 11	高陽校区五役会 ・見守り部会各地区の報告 ・ふれあい見守り登録カードについて

(2)小地域ネットワーク活動リーダー研修会の開催

①校区福祉委員会などを対象に、地域福祉活動の実践から今後の取り組みのヒントを得ることを目的に、研修会を大阪府社会福祉協議会共催にて開催した。

○開催日時:2月27日(火)午後1時30分~午後4時00分

○場 所:高石市役所別館1階 会議室113

○参加者:38名

○テーマ:地元ではたらく方と創る地域福祉 ~多様な主体とのコラボレーションを知る~



②「いきがい・助け合いオンラインフェスタ」のオンライン研修に参加し、地域共生社会の実現に向けた実践事例を学んだ。

○開催日時:10月12日(木)

午前10時~午前12時/午後1時~午後3時

○場 所:高石市役所別館1階 会議室111

○参加者:延べ29名

○テーマ:すべての人が幸せに暮らせる社会へ

(3)生活関連企業訪問活動 (タウンワーク相談ネット推進事業)

「地域共生社会」の実現に向けて、郵便局などの金融機関やスーパーマーケット、コンビニ、商店、喫茶店などの生活に関連する事業所を訪問し、地域における様々な課題の把握や医療・福祉・介護の専門機関とのネットワーク構築を進めるとともに、関係機関との調整を行い、課題の早期発見・早期対応ができるような仕組みづくりを行った。

○訪問件数

郵便局・ 金融機関	スーパー・ コンビニ	駅・タクシー	販売店	医療・介護・ 薬局
7 1	4 1	2	4	9 2
飲食店関係	不動産	理美容室	カラオケ・ パチンコ	新聞· 配達業者
1 0	3	2	2	9
その他				合 計
4 6				282

○相談件数

郵便局・ 金融機関	スーパー・ コンビニ	駅・タクシー	販売店	医療・介護・ 薬局
2 3	6	0	0	4
飲食店関係	不動産	理美容室	カラオケ・ パチンコ	新聞・ 配達業者
1	0	0	0	1
その他				合 計
5 3				8 8